

平成30年度「幼児教育に関わる実態調査（アンケート）」の結果について

I 調査の概要

1 目的

幼児教育の充実のために策定した第3期「学ぶ土台づくり」推進計画の進行管理を行っていく上での基礎資料とするとともに、今後の幼児教育の取組の企画立案に反映させる手掛かりを得るものとして実施する。

2 調査範囲

県内の国公立・私立の幼稚園，保育所，認定こども園及び認可外保育施設

3 調査対象

(1) 幼児教育に関わる実態調査

- ・ 県内全ての幼稚園，保育所，認定こども園及び認可外保育施設の全教員と保育士（臨時職員，非常勤職員及び講師を除く）

(2) 幼児教育に関わるアンケート

- ・ 県内全ての幼稚園，保育所，認定こども園及び認可外保育施設の全園児の保護者

4 調査方法

インターネットによる回答

※ 調査対象者（教員，保育士，保護者）が，宮城県教育庁教育企画室のウェブサイトアクセスして回答（宮城県電子申請システムの活用）（無記名，多肢選択方式）

5 調査期間

平成30年7月17日（火）午前9時から平成30年8月10日（金）午後5時まで

6 調査内容

第3期「学ぶ土台づくり」推進計画に定めた4つの目標ごとに，以下の点を調査する。

- ・ 親子間の愛着形成の現状
- ・ 子供の基本的生活習慣の現状
- ・ 子供の体験活動の現状
- ・ 幼児教育の環境についての現状 等

7 回答数

対 象		対象 施設数	回答数（人）				
			園長・所長	回答率	教員・保育士	保護者 （父）	保護者 （母）
幼稚園	国公立	70	19	27.1%	95	13	109
	私立	148	16	10.8%	54	34	245
	小計	218	35	16.1%	149	47	354
保育所	公立	175	39	22.3%	219	43	387
	私立	254	37	14.6%	134	41	289
	小計	429	76	17.7%	353	84	676
認定こども園		48	10	20.8%	36	14	128
認可外保育施設		254	46	18.1%	96	14	111
合 計		949	167	17.6%	634	159	1,269
総合計		801			1,428		
		2,229					

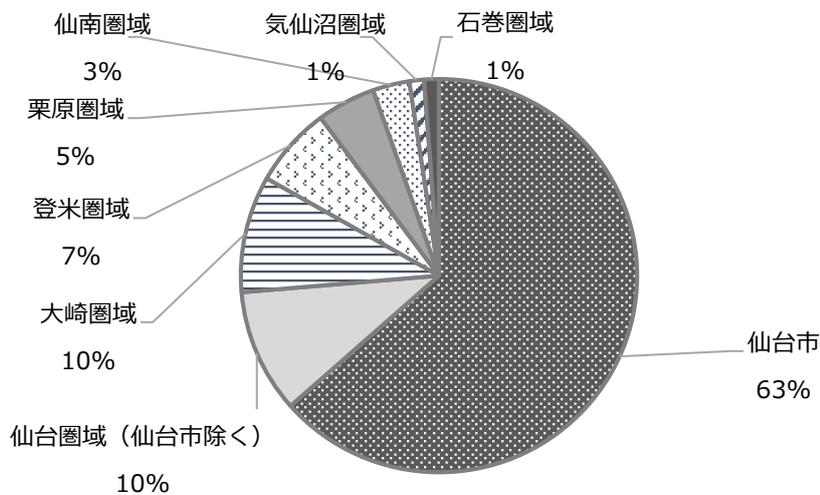
II 集計結果

幼児教育に関わる実態調査（園長・所長，教員・保育士等対象）

➤ 回答状況

- ・ 回答数 801件（園長・所長 167件，教員・保育士等 634件）
- ・ 施設別件数 幼稚園 184件（35施設），保育所 429件（76施設），
認定こども園 46件（10施設），認可外保育施設 142件（46施設）

・ 施設所在地

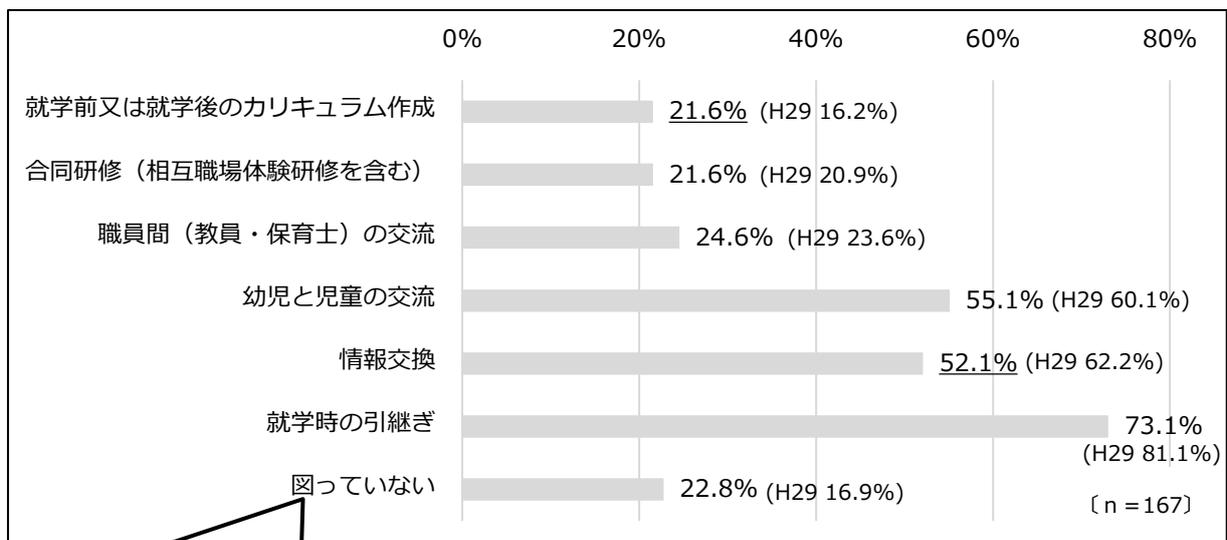


- ・ 回答方法 スマートフォン等 50.4%，パソコン 49.6%

1 幼・保・小連携について【園長・所長のみ回答】

1-1 小学校とどのような内容の連携を図っていますか。（該当するもの全て選択）

★目標指標 No. 13, 14



私立保育所 4施設/37施設，認可外保育施設等 34施設/46施設

「情報交換」目標値（H32）：80%

「カリキュラム作成」目標値（H32）：55%

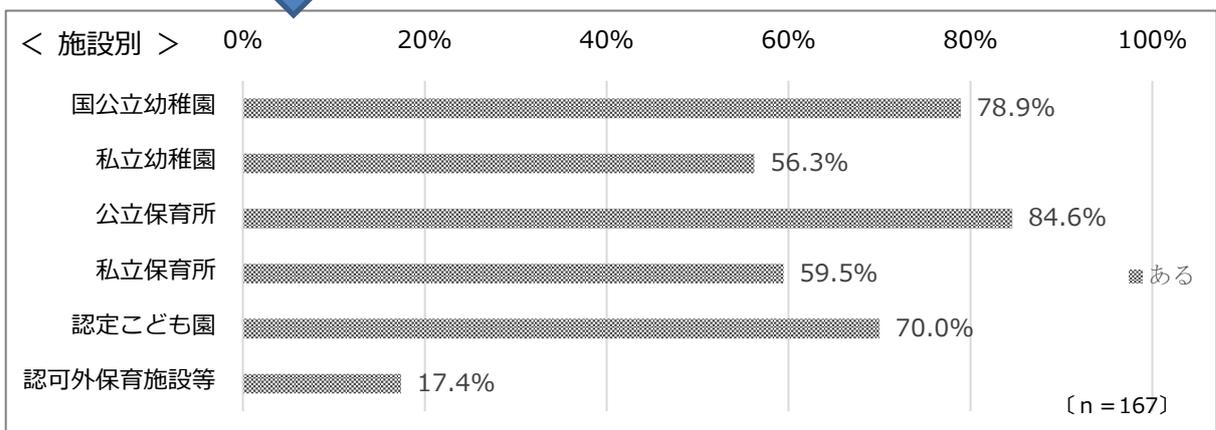
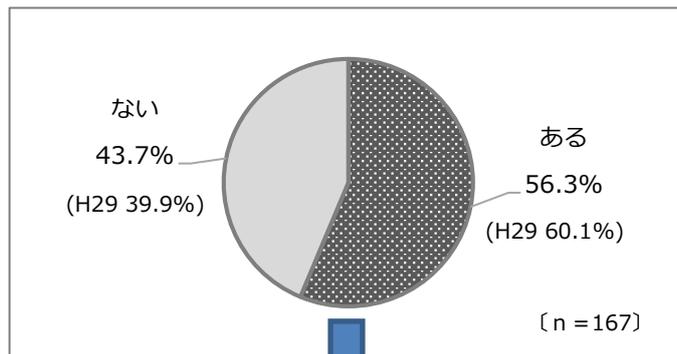
<施設別>

	国公立幼稚園	私立幼稚園	公立保育所	私立保育所	認定こども園	認可外保育施設等
カリキュラム作成	42.1%	0.0%	35.9%	29.7%	20.0%	2.2%
合同研修	52.6%	18.8%	33.3%	21.6%	10.0%	2.2%
職員間の交流	63.2%	25.0%	30.8%	18.9%	50.0%	2.2%
幼児と児童の交流	100.0%	62.5%	79.5%	54.1%	100.0%	4.3%
情報交換	89.5%	50.0%	82.1%	51.4%	70.0%	8.7%
就学時の引継ぎ	100.0%	93.8%	100.0%	86.5%	100.0%	15.2%
図っていない	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	0.0%	73.9%

<概要①>

- 小学校との連携内容については、カリキュラム作成や合同研修、職員間の交流を行っている割合が昨年度から増加したものの、「図っていない」割合も5.9ポイント増加した。施設別では、認可外保育施設等における「図っていない」割合が73.9%であり、特に高くなっている。

1-2 小学校との連携を図るための連絡協議会等の連携組織がありますか。

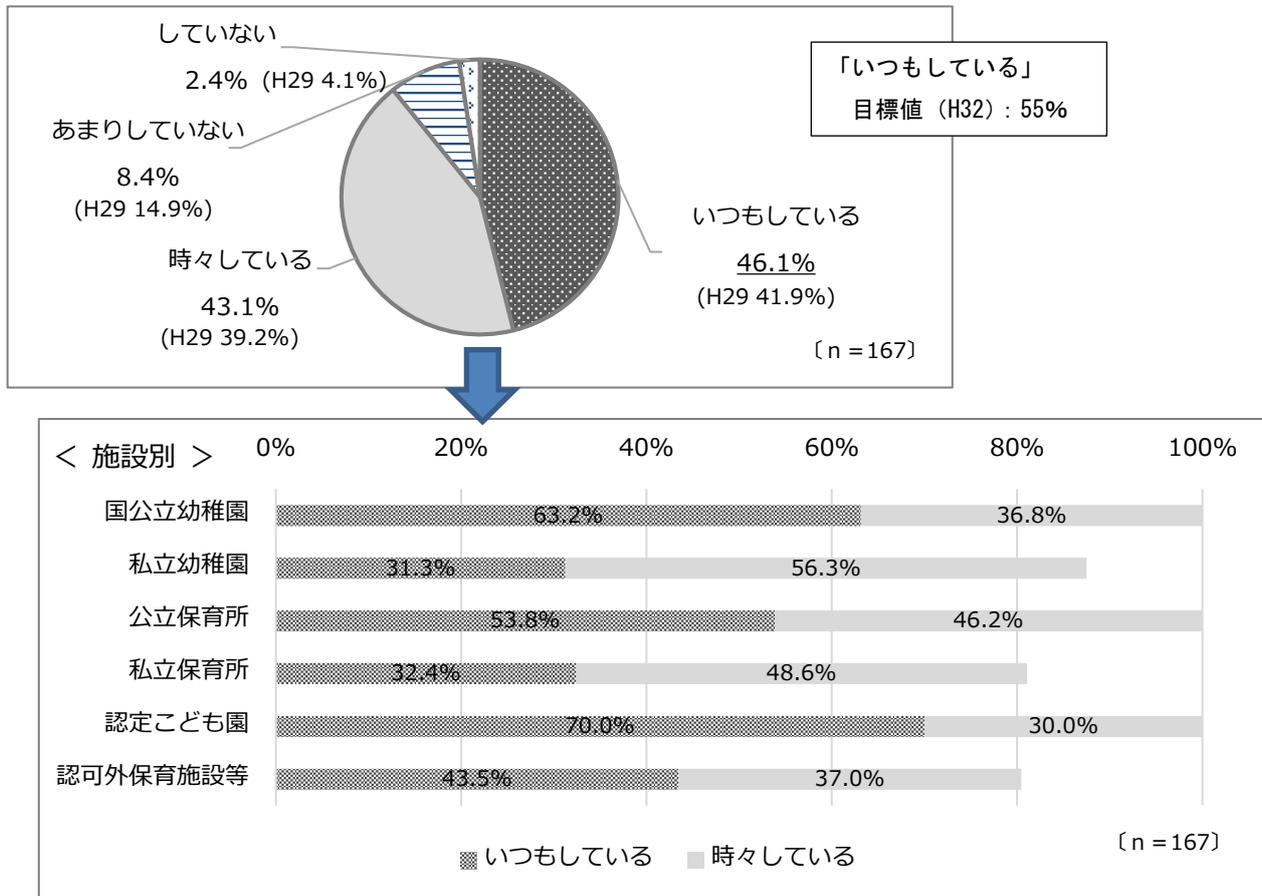


<概要②>

- 小学校との連携組織については、「ある」の割合が昨年度から3.8ポイント減少した。施設別では、私立幼稚園や認可外保育施設等における割合が低くなっている。

2 基本的な生活習慣について【園長・所長のみ回答】

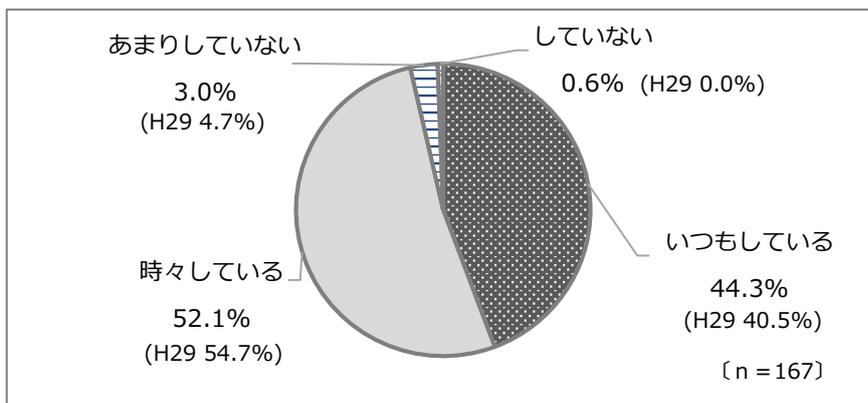
2-1 幼稚園や保育所等の活動において「はやね・はやおき・あさごはん」運動などの基本的な生活習慣の確立のための取組をしていますか。 ★目標指標 No. 6



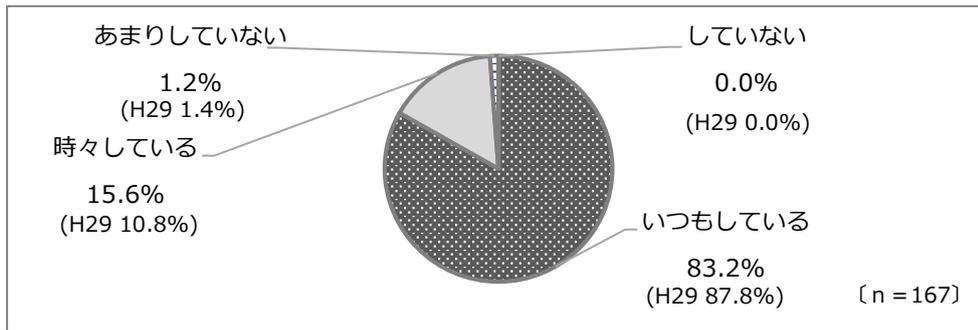
<概要③>

- 基本的な生活習慣の取組については、「いつもしている」と答えた割合が46.1%であり、昨年度から4.2ポイント増加した。施設別では、私立幼稚園と私立保育所における割合が低くなっている。

2-2 基本的な生活習慣の確立のために、家庭への啓発をしていますか。



2-3 外遊びや運動など体を動かす習慣の確立のための取組をしていますか。

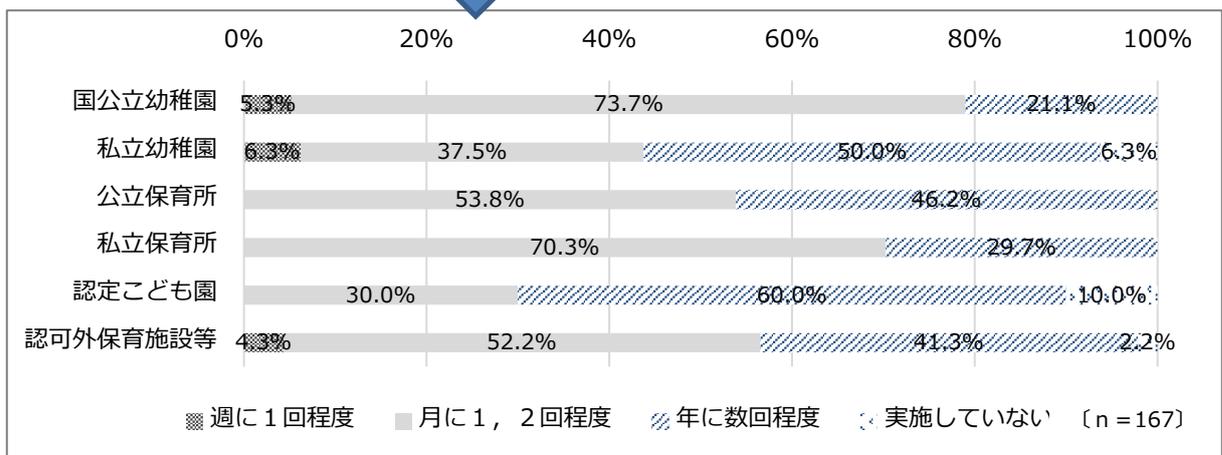
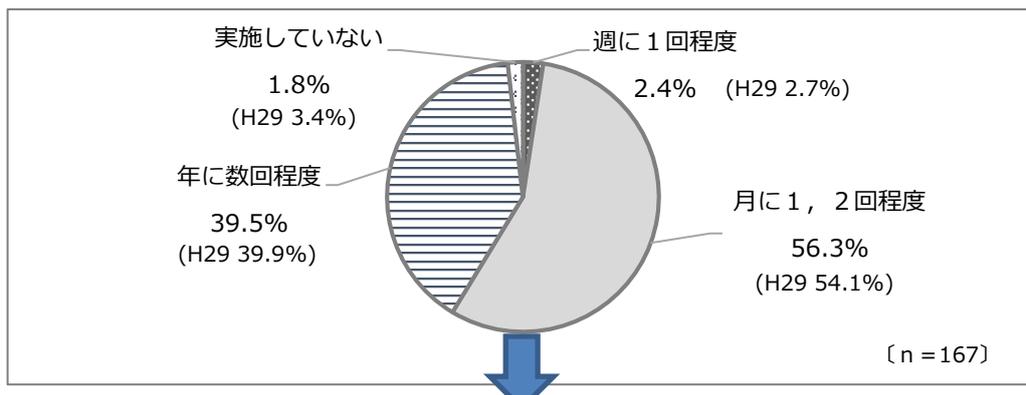


<概要④>

- 外遊びや運動などの取組については、「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合が98.8%であり、昨年度から0.2ポイント増加した。
- ⇒ 各施設においてその重要性が認識され、外遊びや運動の機会が確保されているものと考えられる。

3 園内研修について【園長・所長のみ回答】

園内研修の頻度についてお答えください。

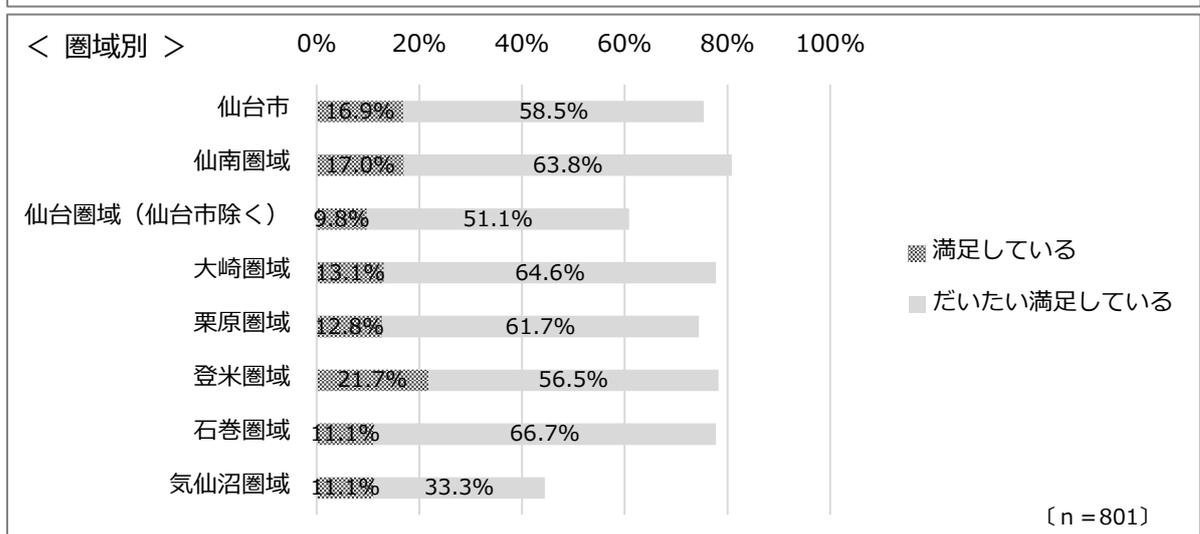
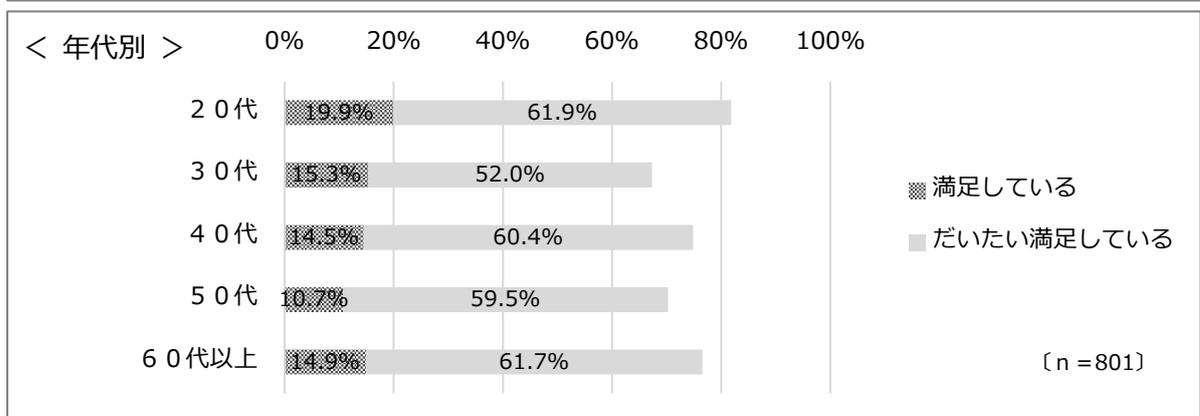
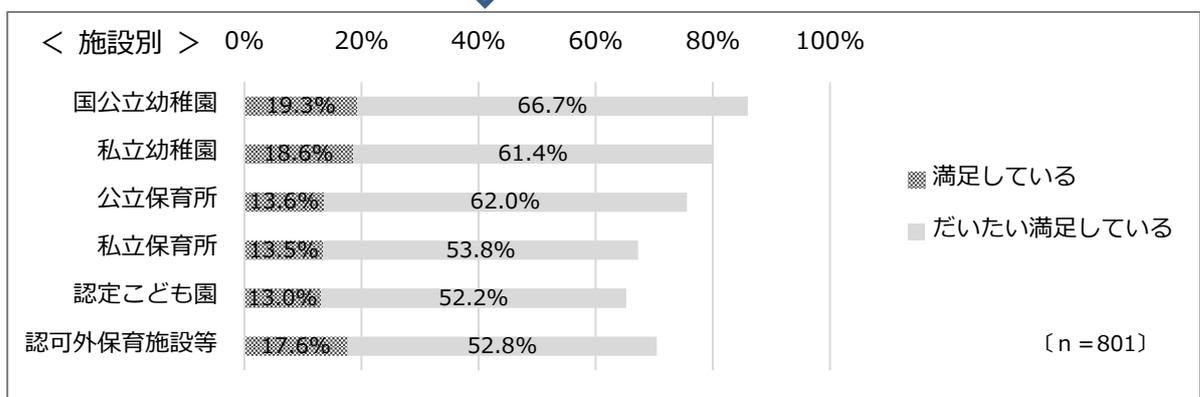
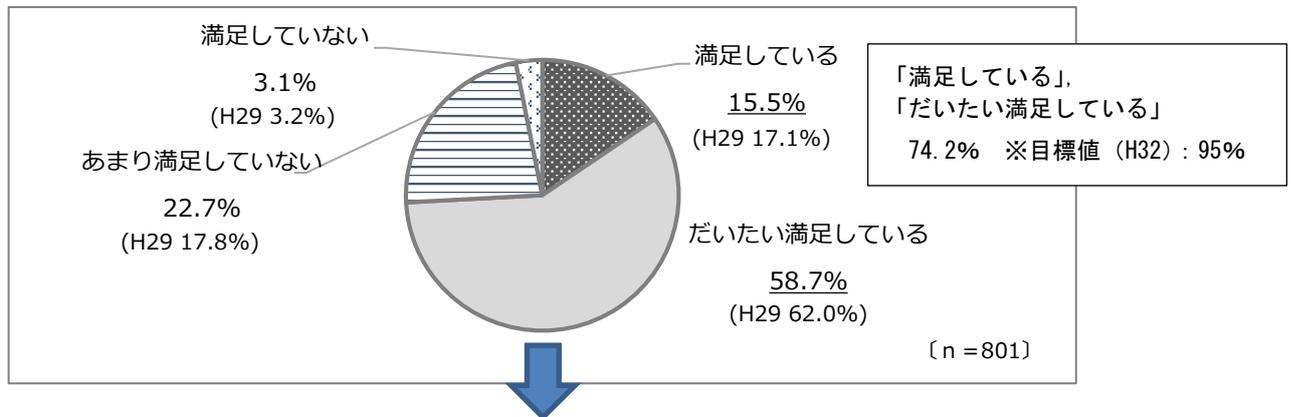


<概要⑤>

- 園内研修の頻度については、「週に1回程度」と「月に1, 2回程度」を合わせた割合が58.7%であり、昨年度から1.9ポイント増加した。施設別では、国公立幼稚園及び私立保育所における園内研修の頻度が高く、認定こども園における園内研修の頻度が低くなっている。

4 研修について

4-1 現在のご自身の研修状況についてお答えください。 ★目標指標 No. 15

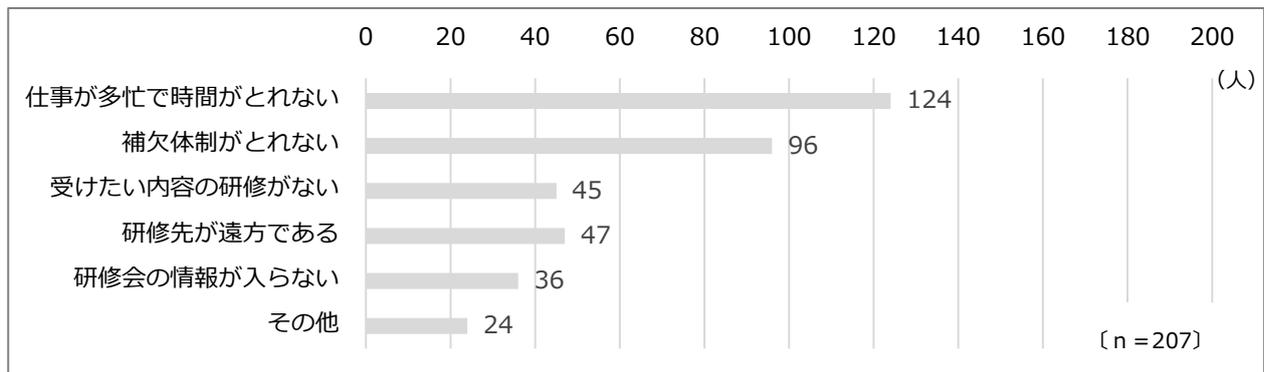


<概要⑥>

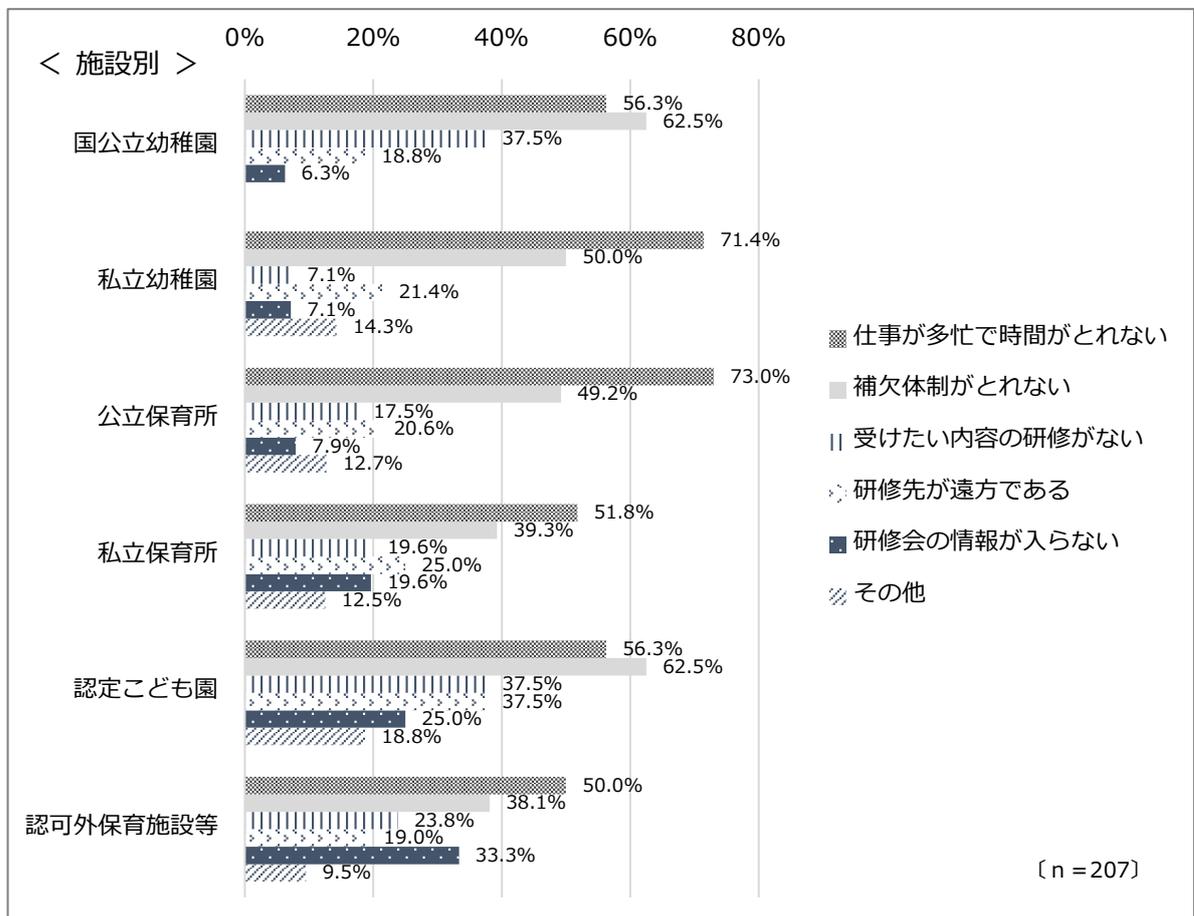
- 研修状況については、「満足している」と「だいたい満足している」を合わせた割合が74.2%であり、昨年度から4.9ポイント減少した。
- 施設別では、私立保育所と認定こども園の割合が低く、年代別では、30代の割合が低くなっている。また、圏域別では、気仙沼圏域の割合が低くなっている。

4-2

4-1で「あまり満足していない」又は「満足していない」と回答した方は、その理由をお答えください。(該当するもの全て選択)



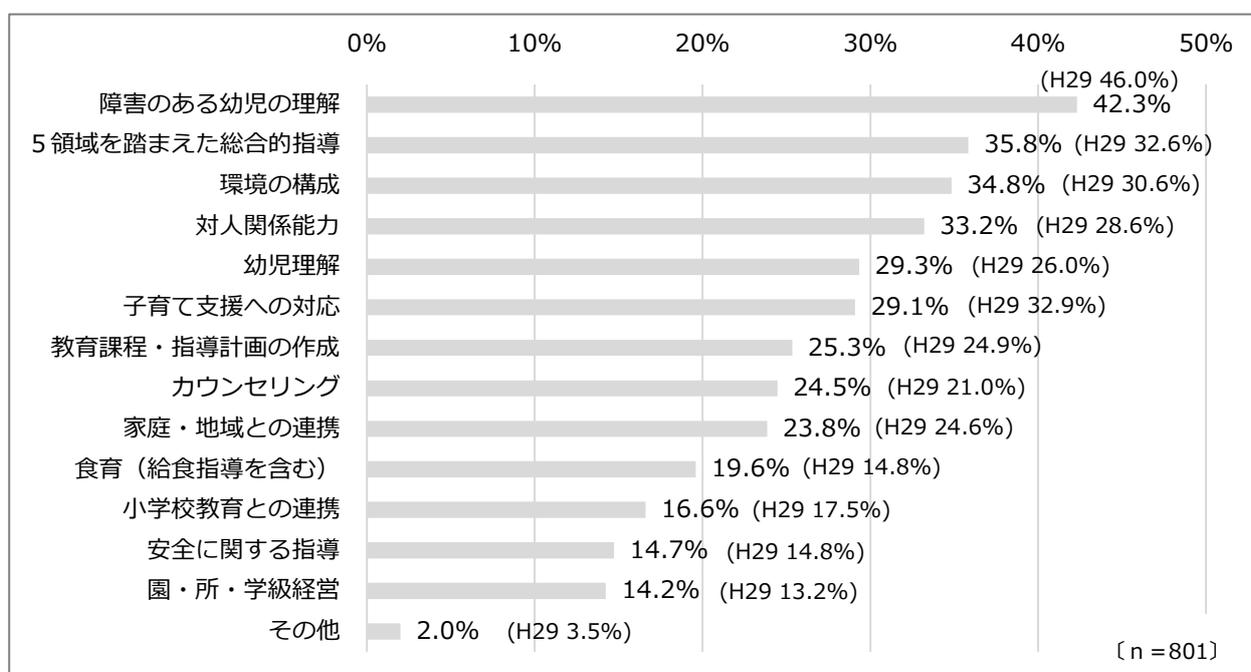
※その他： 研修で時間を頂くことが申し訳ない、任期付き職員のため参加したいと思っても参加させてもらえない、競争率が高くて受けられない 等



<概要⑦>

- 研修に満足していない理由については、「仕事が多忙で時間がとれない」が最も多く、特に公立保育所と私立幼稚園における割合が高くなっている。
- 認可外保育施設等においては、「研修会の情報が入らない」の割合が33.3%であり、他の施設と比べて高くなっている。

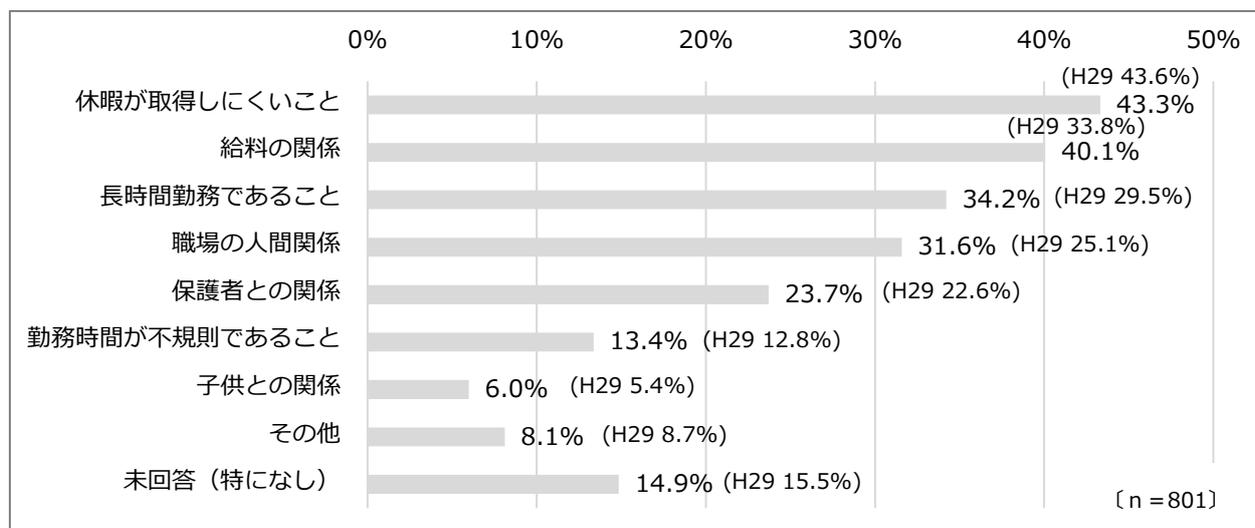
4-3 今後、受講したい研修会等の内容についてお答えください。(該当するもの3つ選択)



※その他： 保護者対応, 人材育成, 社会福祉援助技術, 保育所保育指針の解釈, 実技指導 等

5 職業上の悩みについて

働く上で悩んでいることがありましたら、その理由をお答えください。(該当するもの全て選択)



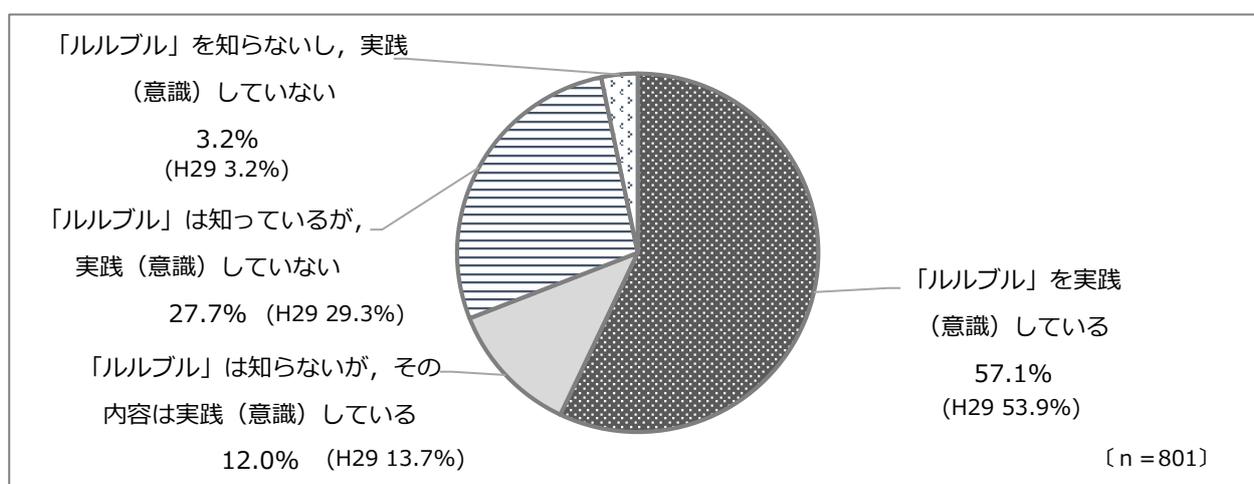
※その他： 事務量が多い, 持ち帰りの仕事が多い, 保育士不足, 子供と保護者の親子関係, 自身の子育てとの両立, 園の経営 等

<概要⑧>

- 職業上の悩みについては、「休暇が取得しにくいこと」の割合が43.3%と、昨年度と同様最も高い。
なお、私立幼稚園、私立保育所及び認可外保育施設等では、「給料の関係」の割合が最も高く、特に私立保育所では5割を超えている。

6 「ルルブル」について

子供の基本的生活習慣の確立に向けた「ルルブル」の取組に関して、ご自身の教育・保育における取組状況についてお答えください。

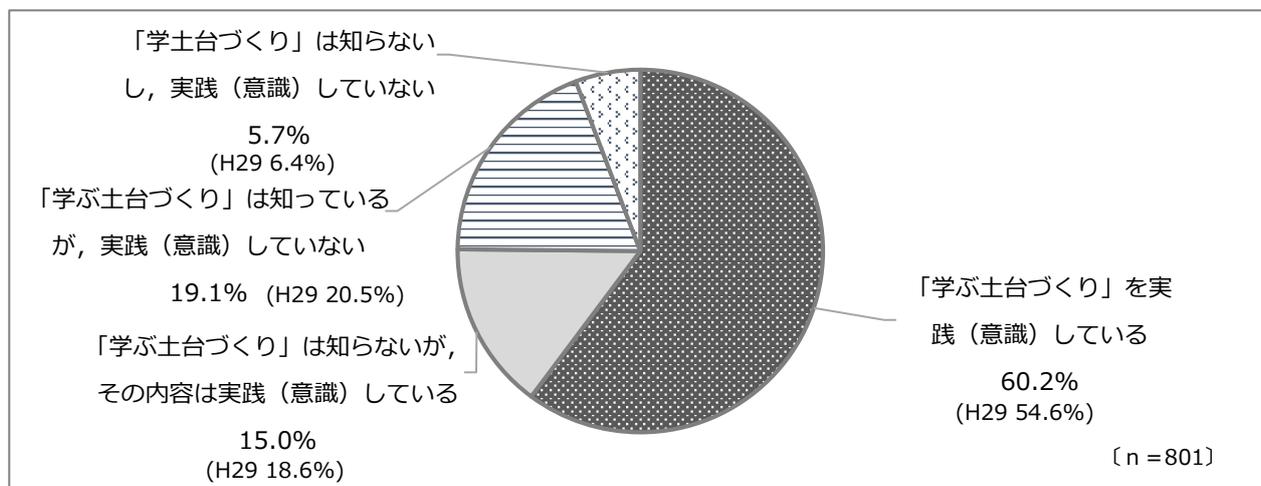


<概要⑨>

- 「ルルブル」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が69.0%であり、昨年度から1.4ポイント増加した。
- 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が27.7%であり、昨年度から1.6ポイント減少した。
⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

7 「学ぶ土台づくり」について

幼児教育の充実に向けた「学ぶ土台づくり」の取組に関して、ご自身の教育・保育における取組状況についてお答えください。



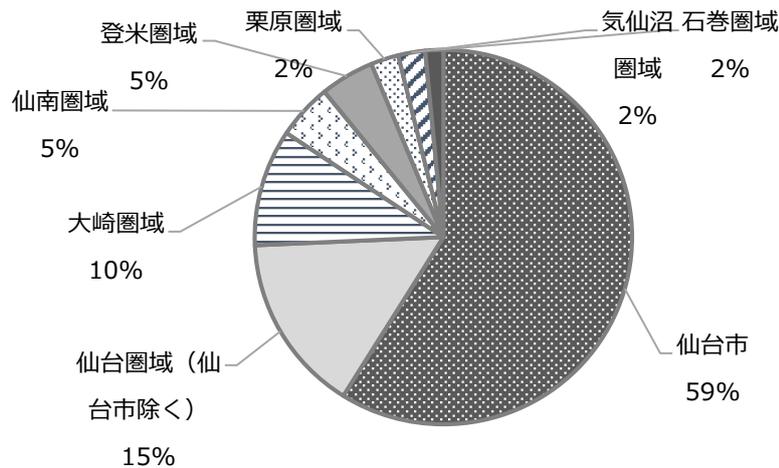
<概要⑩>

- 「学ぶ土台づくり」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が75.2%であり、昨年度から2.0ポイント増加した。
- 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が19.1%であり、昨年度から1.4ポイント減少した。
⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

幼児教育に関わるアンケート（保護者対象）

➤ 回答状況

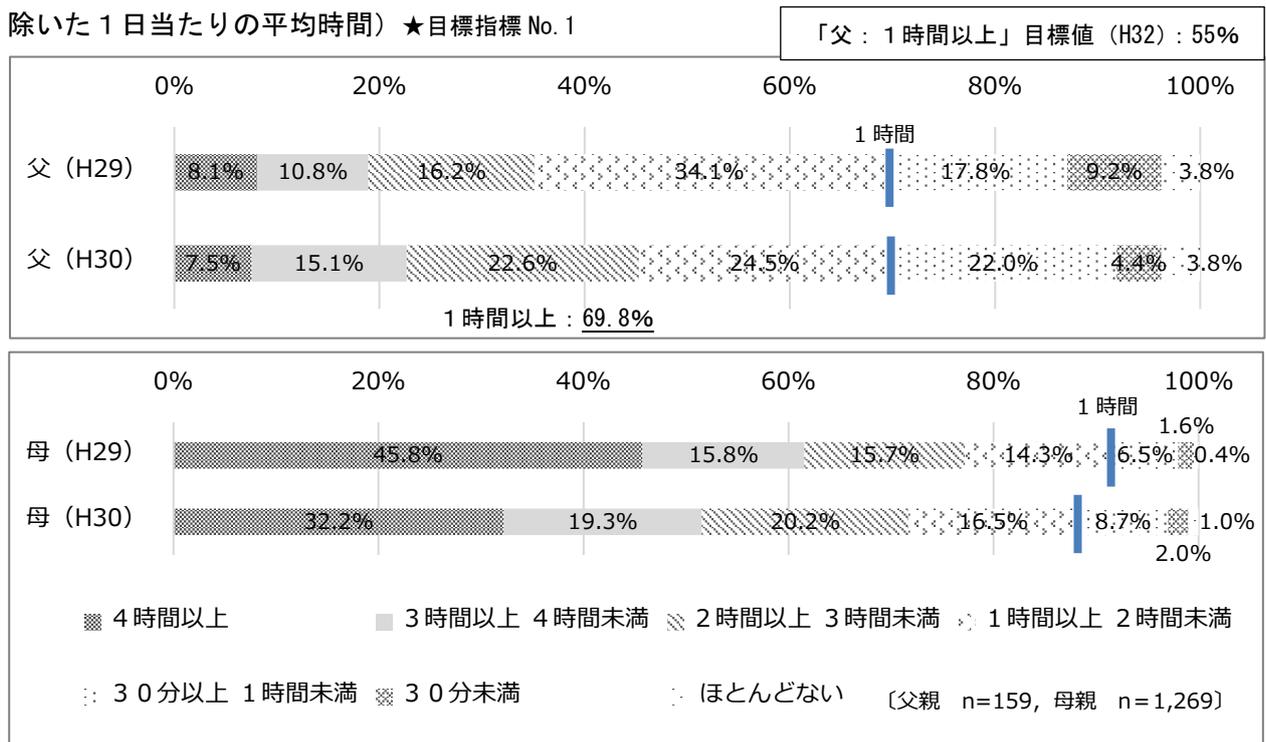
- ・ 回答数 1,428 件
- ・ 施設別件数 幼稚園 401 件, 保育所 760 件, 認定こども園 142 件, 認可外保育施設 125 件
- ・ 居住地

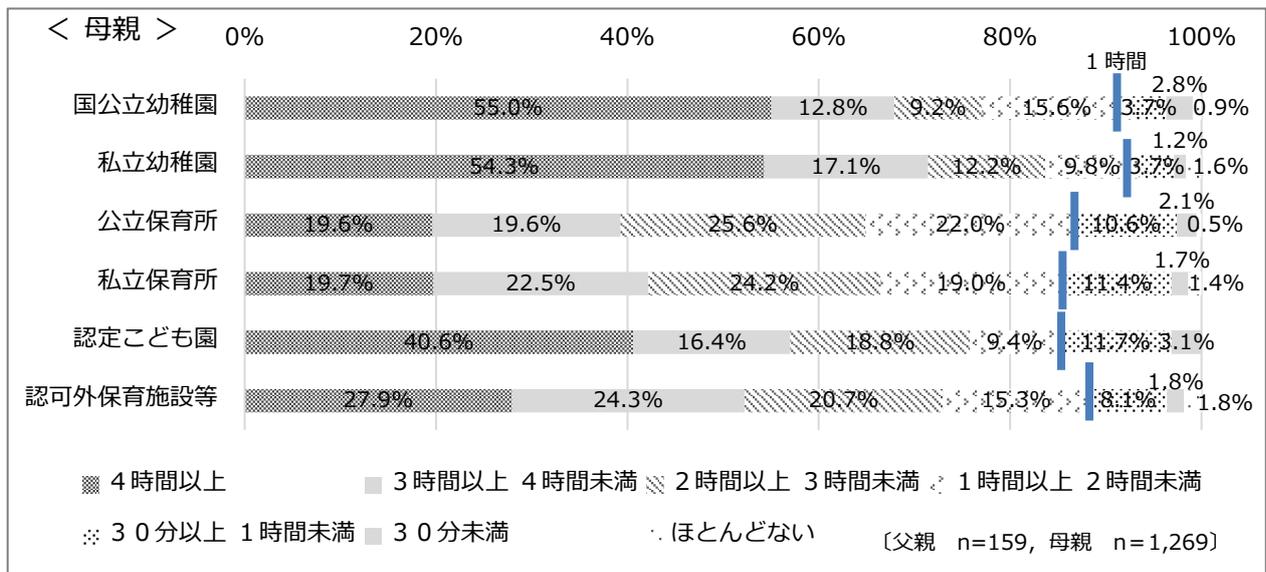
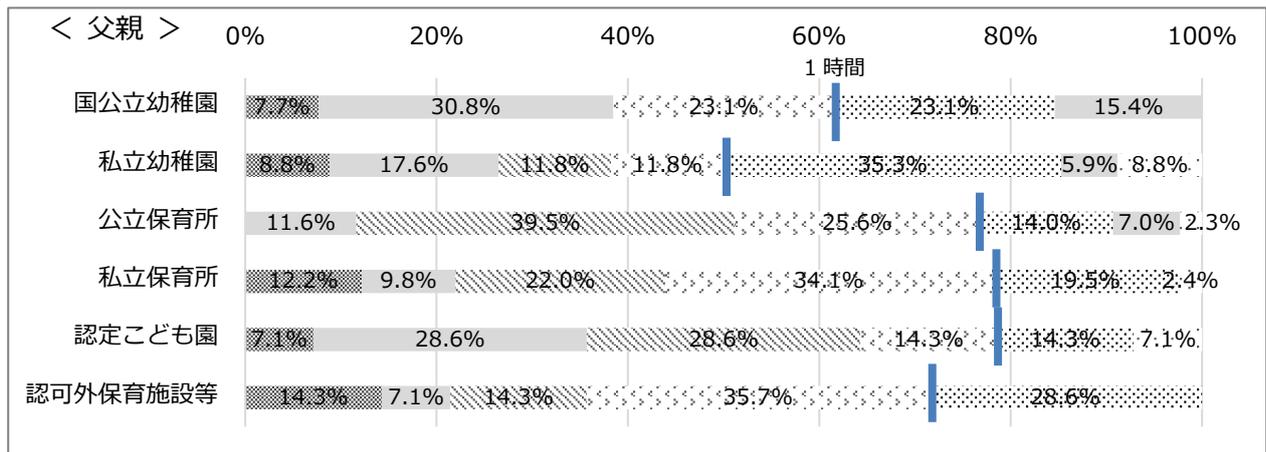


- ・ 回答方法 スマートフォン等 77.9%, パソコン 22.1%

1 親子の関わりについて

1-1 あなたは、平日（休日以外）にお子さんと触れ合う時間はどの位ありますか。（食事と入浴を除いた1日当たりの平均時間）★目標指標 No. 1

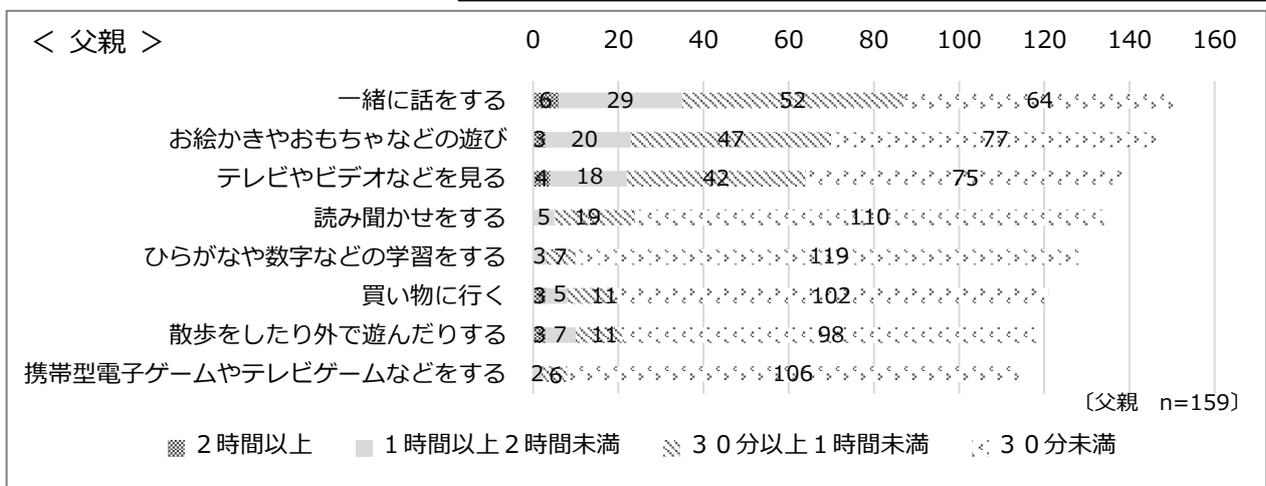


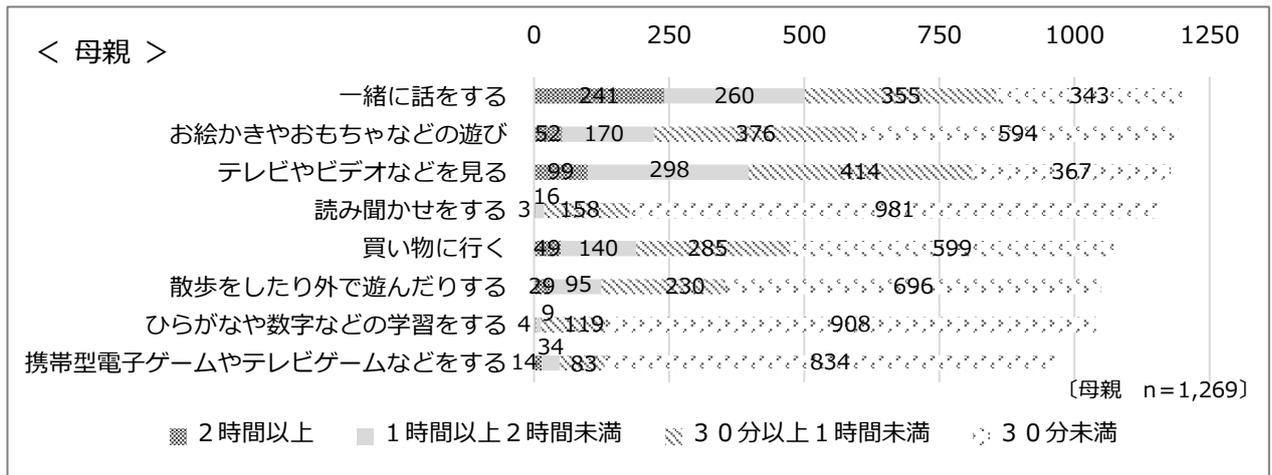


1-2

1-1で回答した時間において、お子さんと一緒に何をすることが多いですか。(該当するもの全て選択) ★目標指標 No. 2

「読み聞かせをする」保護者の割合 90.5% ※目標値 (H32) : 75%

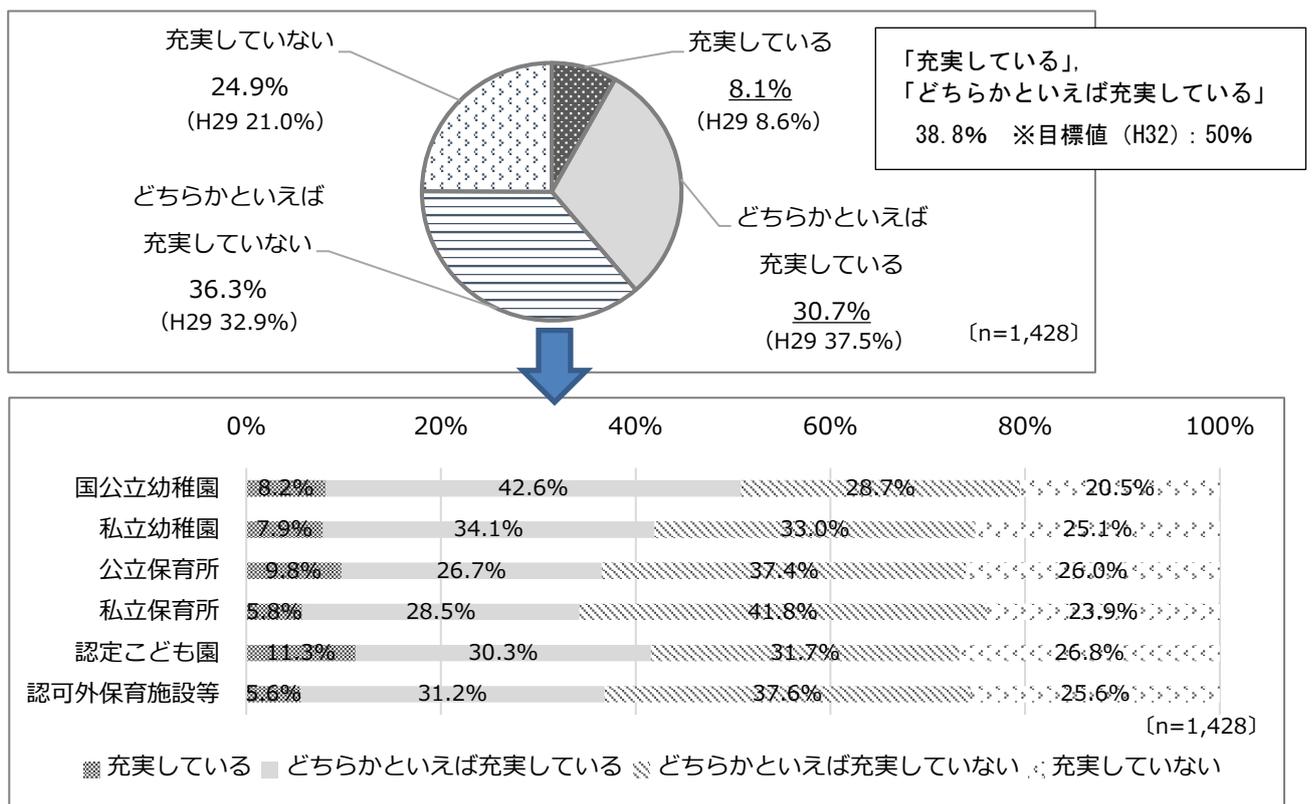




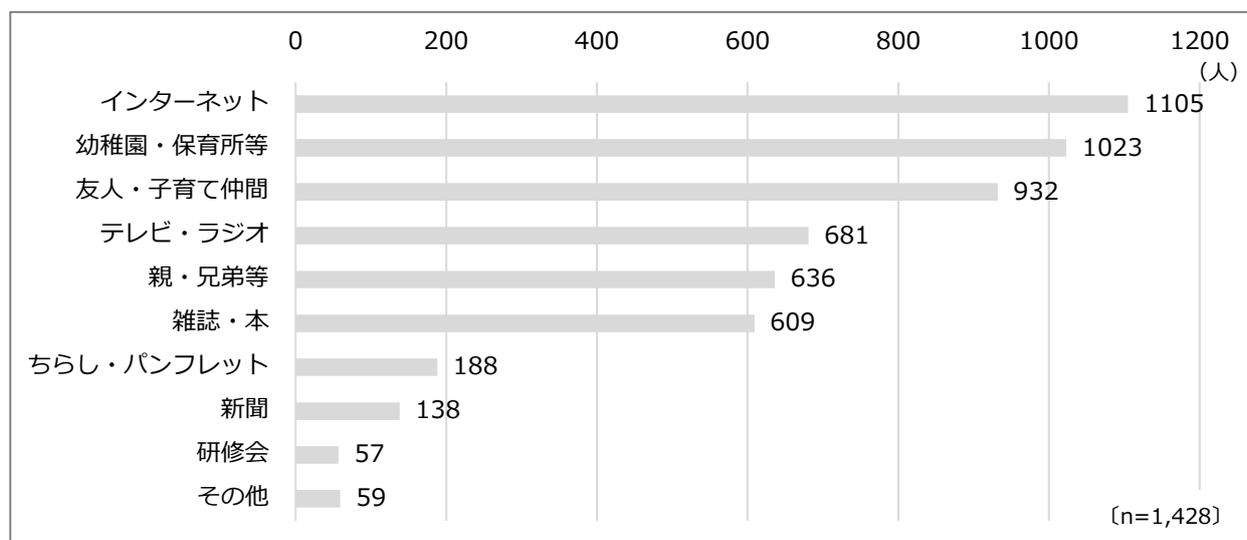
< 概要① >

- 子供と触れ合う時間（1-1）については、1時間以上の割合が、父親は69.8%であり、昨年度から0.6ポイント増加した。ただし、幼稚園での割合は低く、特に私立幼稚園では50.0%となっている。また、母親は88.3%であり、昨年度から3.3ポイント減少した。父親とは反対に、幼稚園での割合が高くなっている。
- 触れ合う内容（1-2）については、90.5%の保護者が県で推奨している「読み聞かせをする」と回答している。

1-3 親として成長していくための学ぶ機会（母親学級や父親学級、両親学級など）は充実していますか。 ★目標指標 No. 4



1-4 子育てに関する情報（知識）は、主にどのようなところから得ていますか。（該当するものを全て選択）



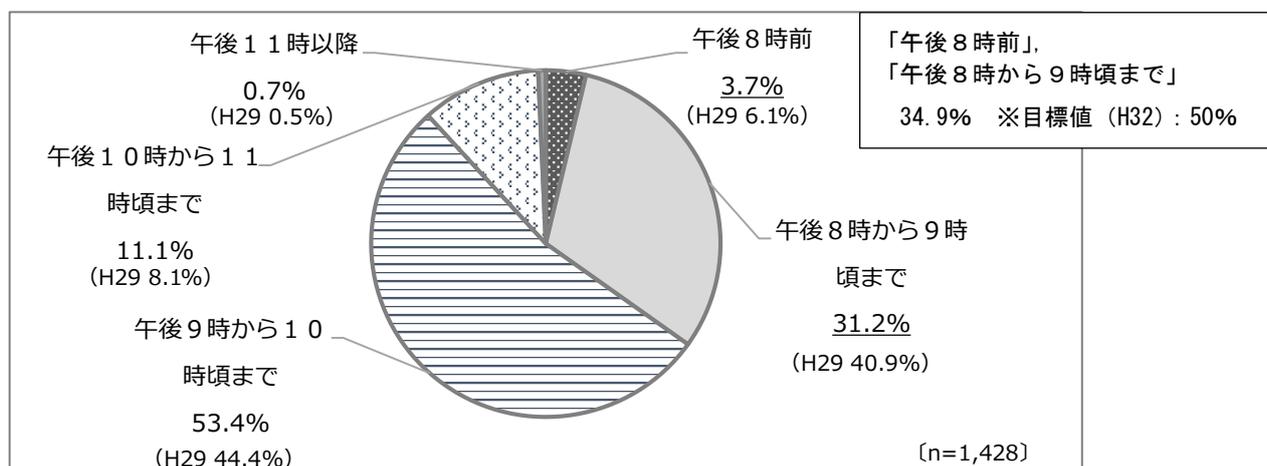
※その他： 職場の先輩・同僚，子供の通信教育教材，幼児教室，市町村広報，子育て支援施設（のびすく等），習い事先，Twitter，SNS，配偶者，児童館 等

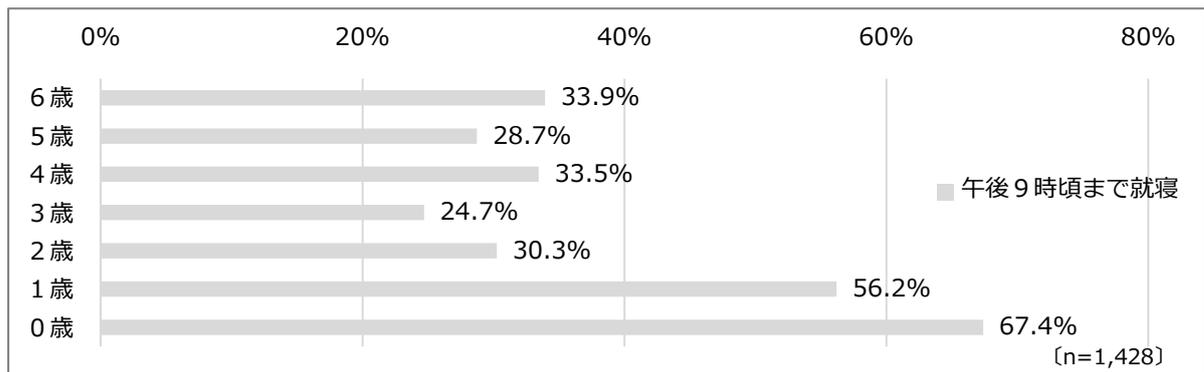
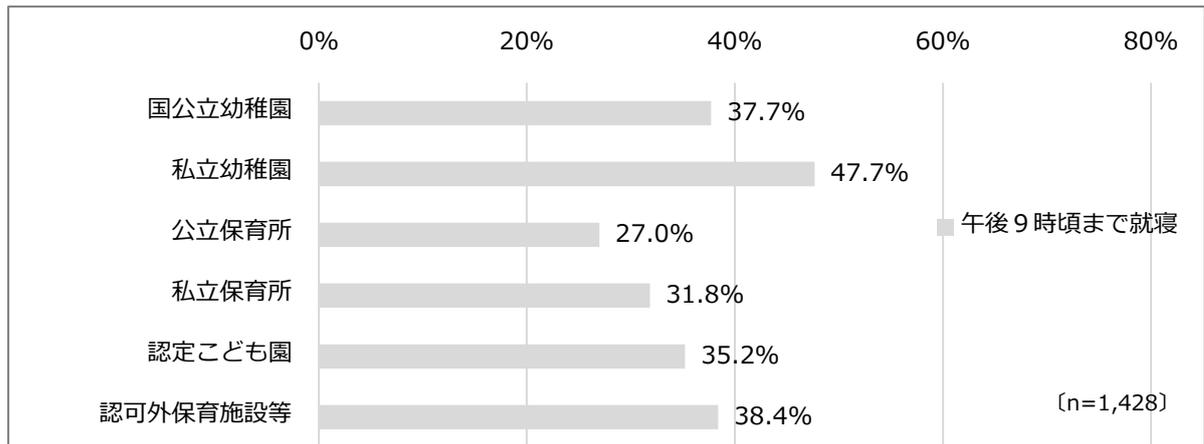
<概要②>

- 親の学ぶ機会（1-3）については、「充実している」と「どちらかといえば充実している」を合わせた割合が38.8%であり，昨年度から7.3ポイント減少した。ただし，幼稚園や認定こども園での割合は高く，特に国公立幼稚園では50.8%となっている。
- 子育てに関する情報の入手先（1-4）については，「インターネット」，「幼稚園・保育所等」，「友人・子育て仲間」が多く，「ちらし・パンフレット」や「新聞」，「研修会」が少なかった。
⇒ 情報提供の仕方を見直す必要がある。

2 お子さんの基本的生活習慣について

2-1 お子さんはいつも何時頃に寝ていますか。 ★目標指標 No. 5

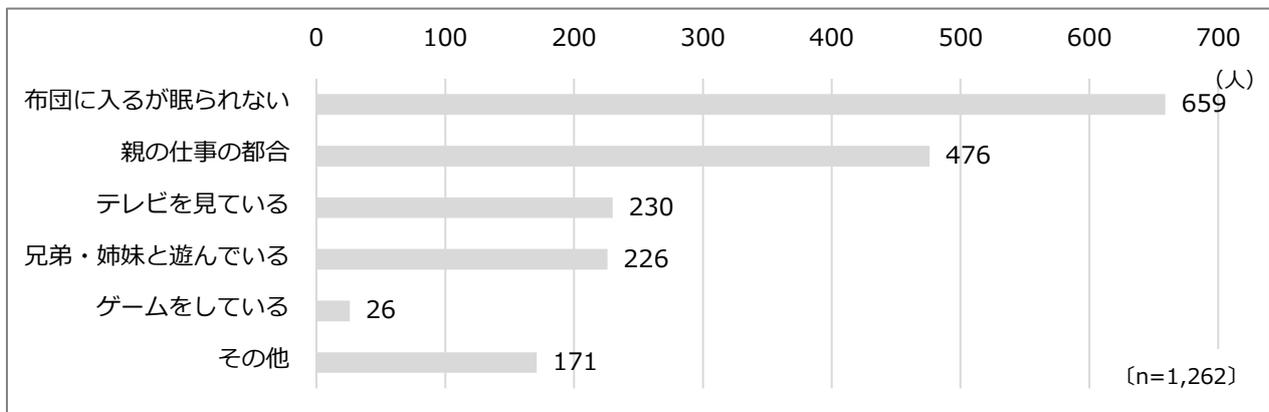




<概要③>

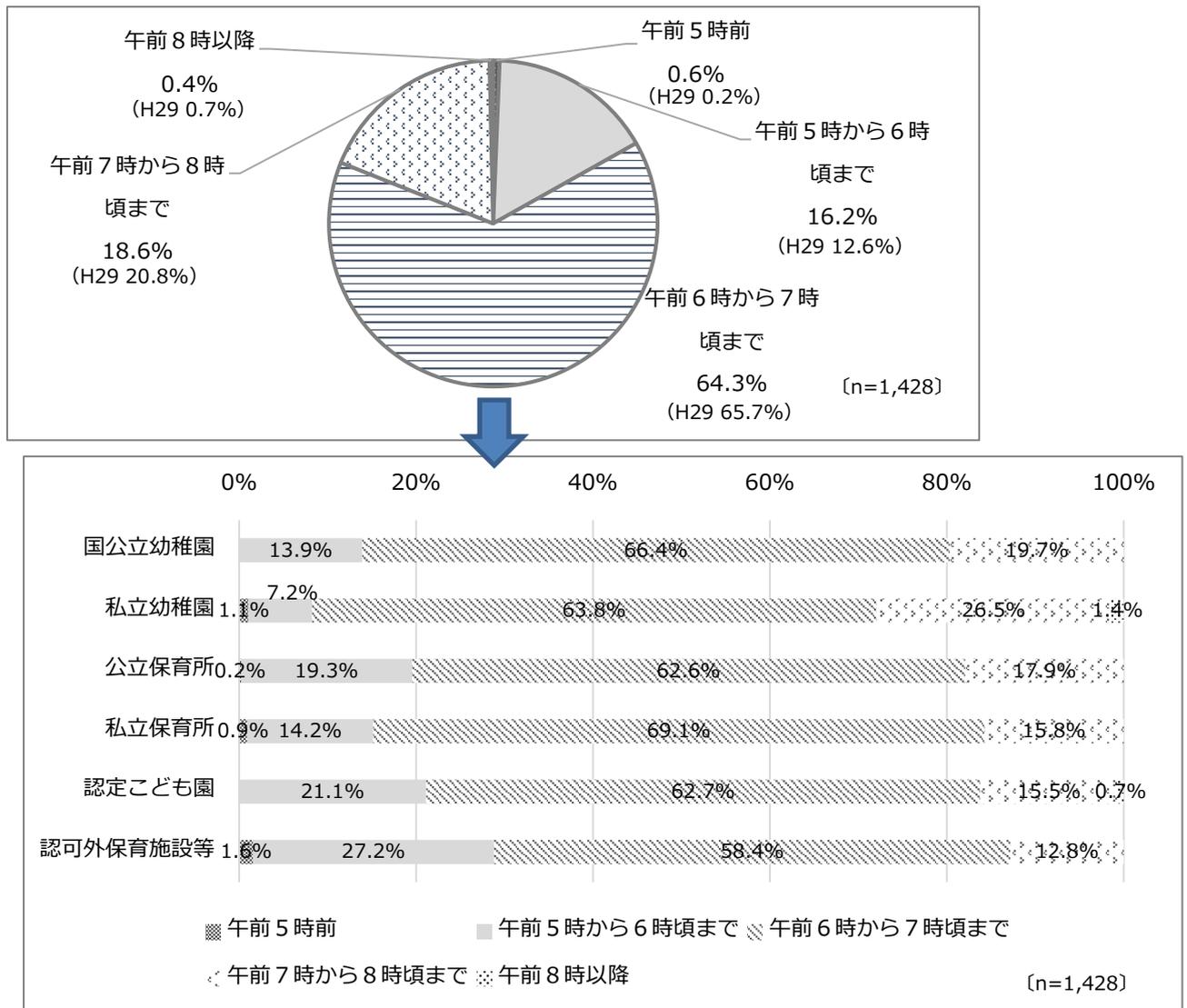
- 子供の就寝時間については、午後9時頃までに就寝する割合が34.9%であり、昨年度から12.1ポイント減少した。施設別では、幼稚園での割合が高く、保育所での割合が低くなっている。また、午後11時以降に寝る子供の割合は0.7%であり、昨年度から0.2ポイント増加した。
- 午後9時頃までに就寝する割合について、年齢別では、3歳の子供の割合が低くなっている。

2-1-1 お子さんが午後9時以降に寝ることがある場合どのような理由ですか。(該当するもの全て選択)

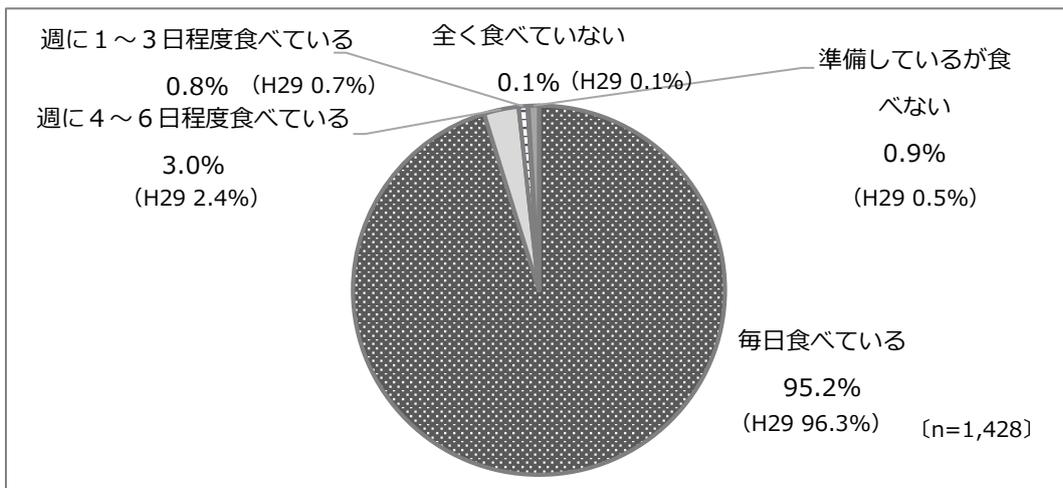


※その他： 昼寝を多くしたとき、夕寝をしたとき、下の子の寝かしつけに時間がかかる、来客のとき、旅行等の外出時、遅く帰ってくる父親との交流、寝る前の絵本読み聞かせ、You Tube を見ている、習い事（自分・兄弟）等

2-2 お子さんはいつも何時頃に起きますか。

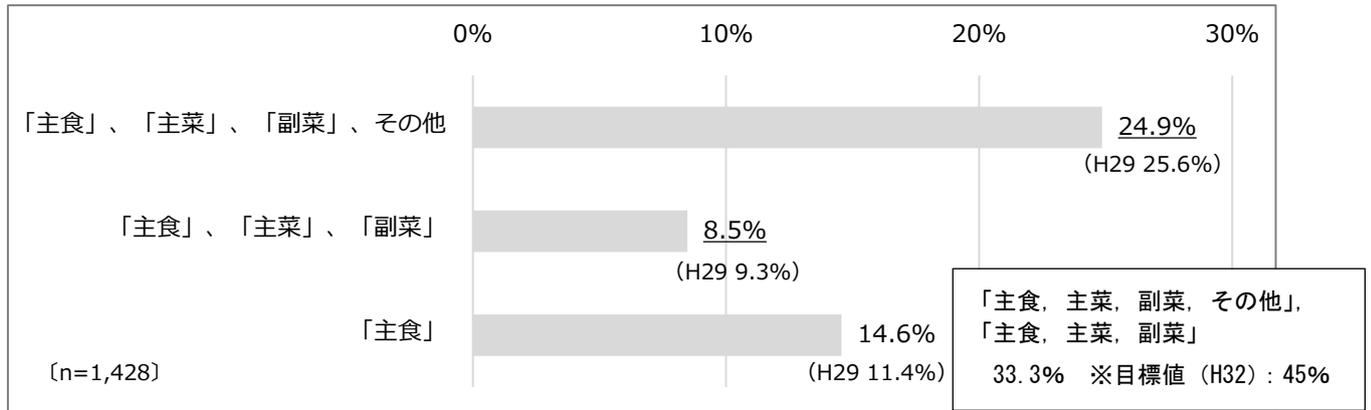


2-3 お子さんは毎日、朝ごはんを食べていますか。



2-4 お子さんの朝ごはんにそろえるものは「主食」「主菜」「副菜」のどれが多いですか。

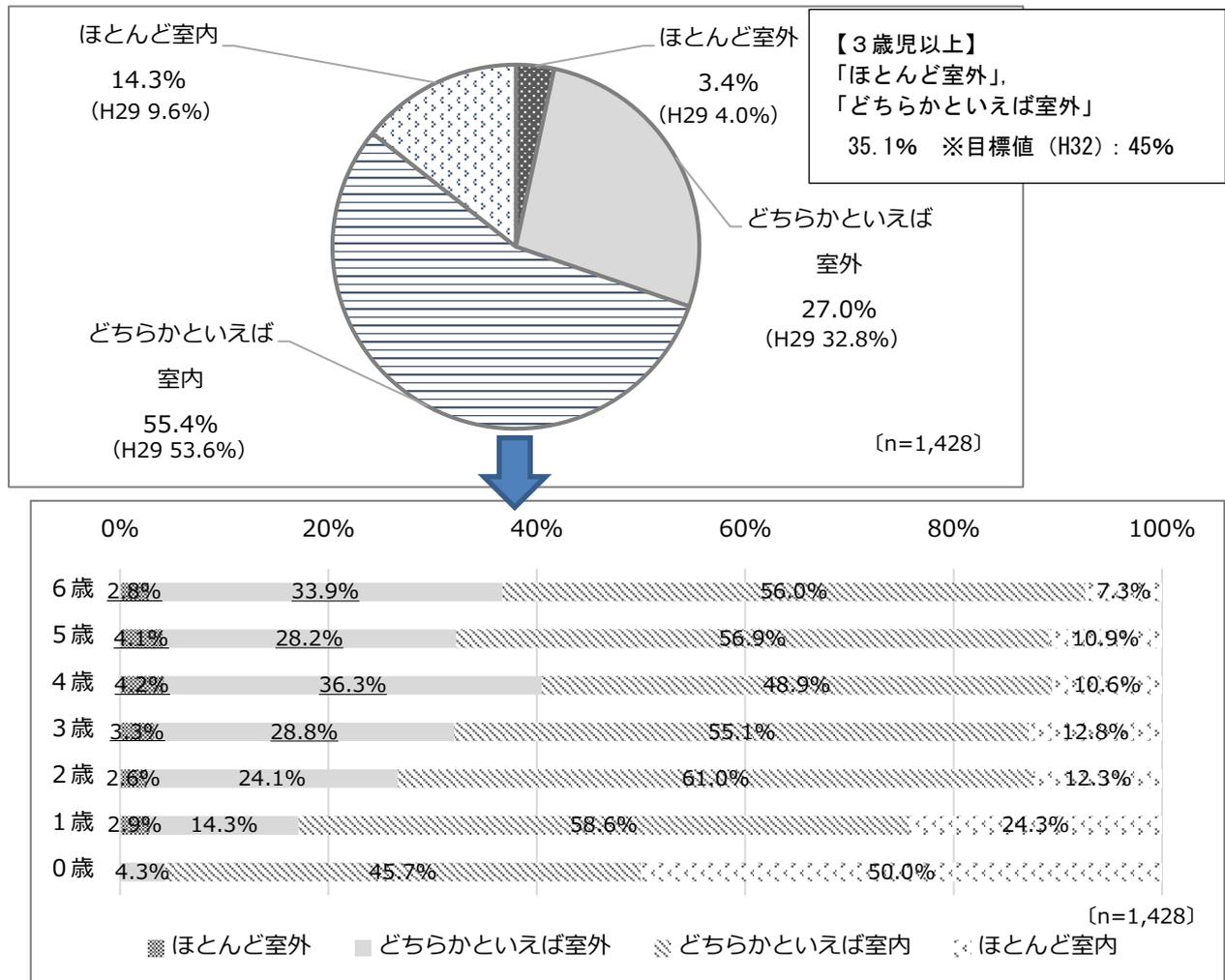
★目標指標 No. 7



<概要④>

- 朝食（2-3）については、「毎日食べている」割合が95.2%であり、昨年度から 1.1 ポイント減少した。
- 朝食に「主食・主菜・副菜・その他」又は「主食・主菜・副菜」をそろえる割合（2-4）は33.3%であり、昨年度から 1.6 ポイント減少した。

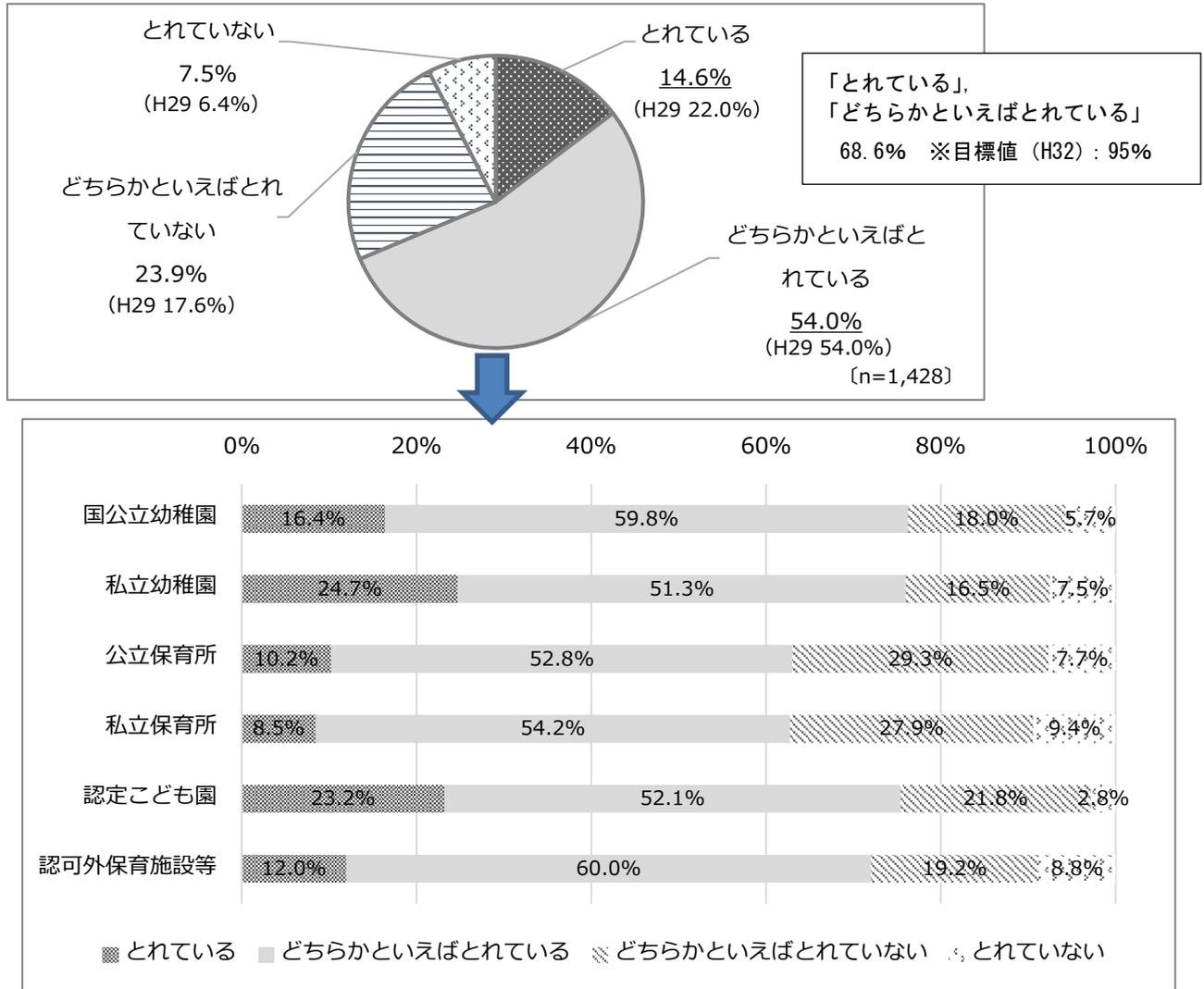
2-5 お子さんは平日や休日に家庭で遊ぶとき、室内、室外のどちらが多いですか。 ★目標指標 No. 8



<概要⑤>

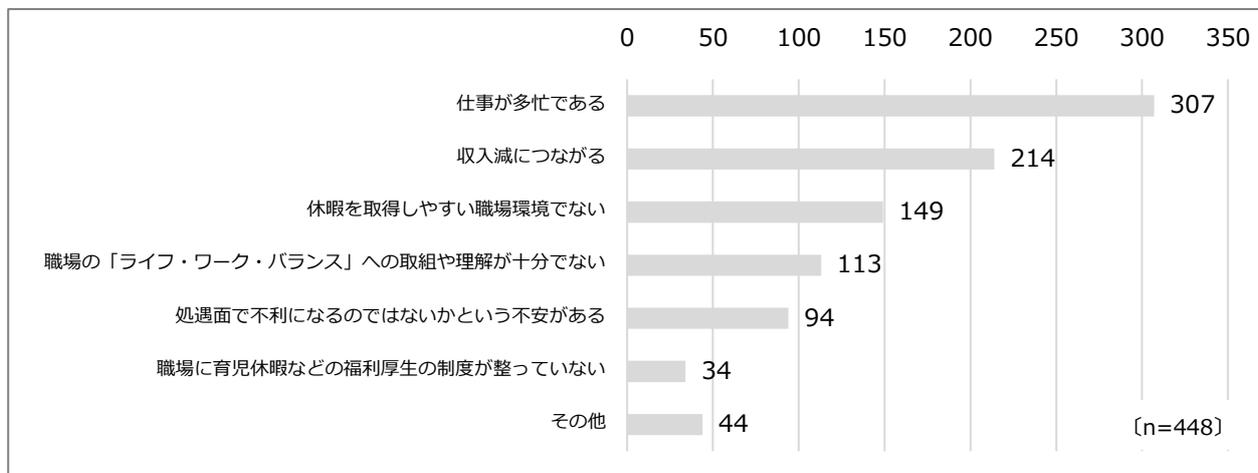
- 遊ぶ場所については、3歳児以上の「ほとんど室外」と「どちらかといえば室外」を合わせた割合が35.1%であり、昨年度から3.7ポイント減少した。年齢が上がるごとに、室外で遊ぶ割合が増加する傾向がみられる。

2-6 お子さんの基本的な生活習慣の確立のために、親の仕事と生活のバランス（「ライフ・ワーク・バランス」）がとれていますか。 ★目標指標 No. 9



2-7

2-6で「どちらかといえばとれていない」又は「とれていない」と回答した方は、その理由をお答えください。（該当するもの全て選択）

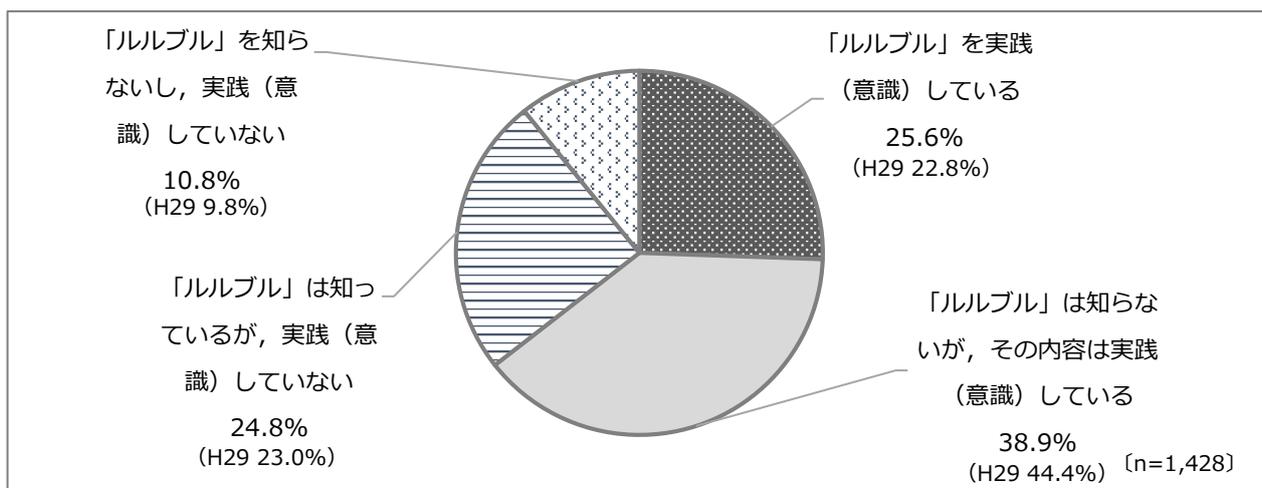


※その他：時短勤務を気軽にできない、通勤時間が長い、育児が多忙で仕事を始められる環境にない 等

<概要⑥>

- 「ライフ・ワーク・バランス」（2-6）については、「とれている」と「どちらかといえばとれている」を合わせた割合が68.6%であり、昨年度より7.4ポイント減少した。施設別では、幼稚園や認定こども園での割合が高く、保育所での割合が低くなっている。
- 理由（2-7）については、昨年度と同様、「仕事が多忙である」が最も多く、次いで「収入減につながる」が多くなっている。

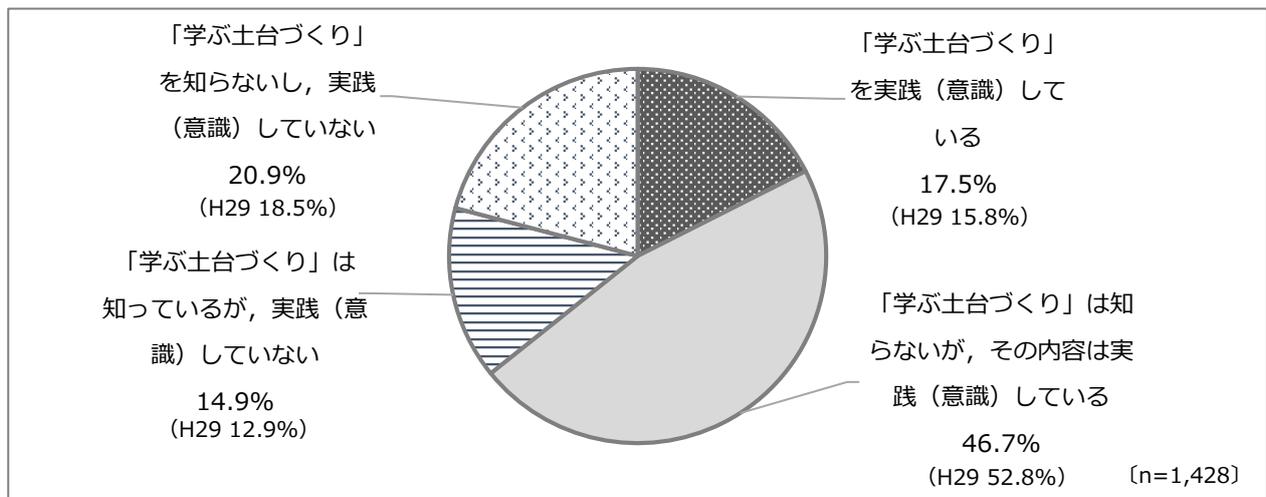
2-8 子供の基本的生活習慣の確立に向けた「ルルブル」の取組に関して、家庭における取組状況についてお答えください。



<概要⑦>

- ・ 「ルルブル」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が64.4%であり、昨年度から2.8ポイント減少した。
 - ・ 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が24.8%であり、昨年度から1.8ポイント増加した。
- ⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

2-9 幼児教育の充実にに向けた「学ぶ土台づくり」の取組に関して、家庭における取組状況についてお答えください。



<概要⑧>

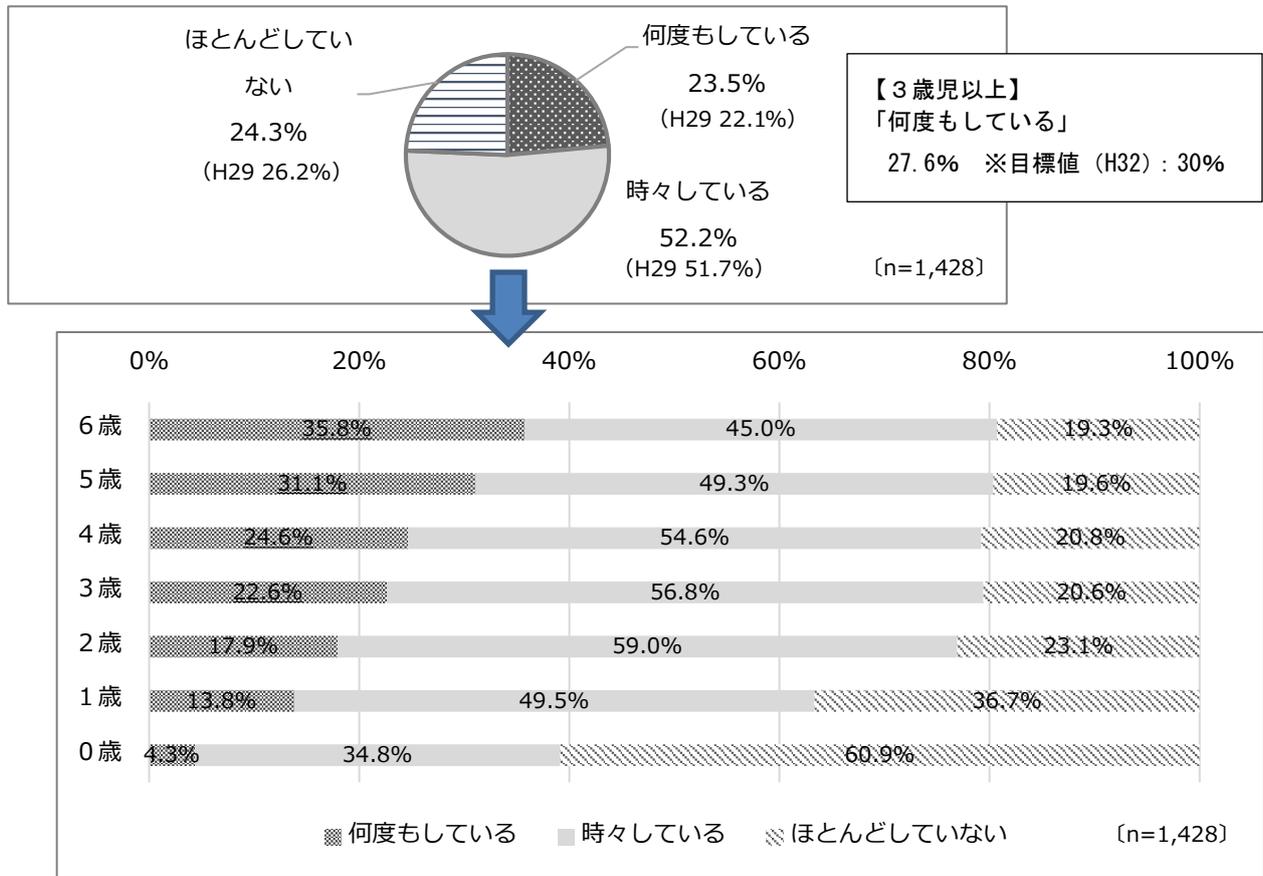
- ・ 「学ぶ土台づくり」の取組については、「実践（意識）している」と「知らないが、その内容は実践（意識）している」を合わせた割合が64.2%であり、昨年度から4.4ポイント減少した。
 - ・ 一方、「知っているが、実践（意識）していない」と回答した割合が14.9%であり、昨年度から2.0ポイント増加した。
- ⇒ 引き続き、普及啓発から実践につなげる取組を行うことが必要である。

<参考>

	ルルブル		学ぶ土台づくり	
	教員・保育士	保護者	教員・保育士	保護者
実践（意識）している	57.1%	25.6%	60.2%	17.5%
知らないが、その内容は実践（意識）している	12.0%	38.9%	15.0%	46.7%
小計	69.0%	64.4%	75.2%	64.2%
知っているが、実践（意識）していない	27.7%	24.8%	19.1%	14.9%
知らないし、実践（意識）していない	3.2%	10.8%	5.7%	20.9%

3 お子さんの体験活動について

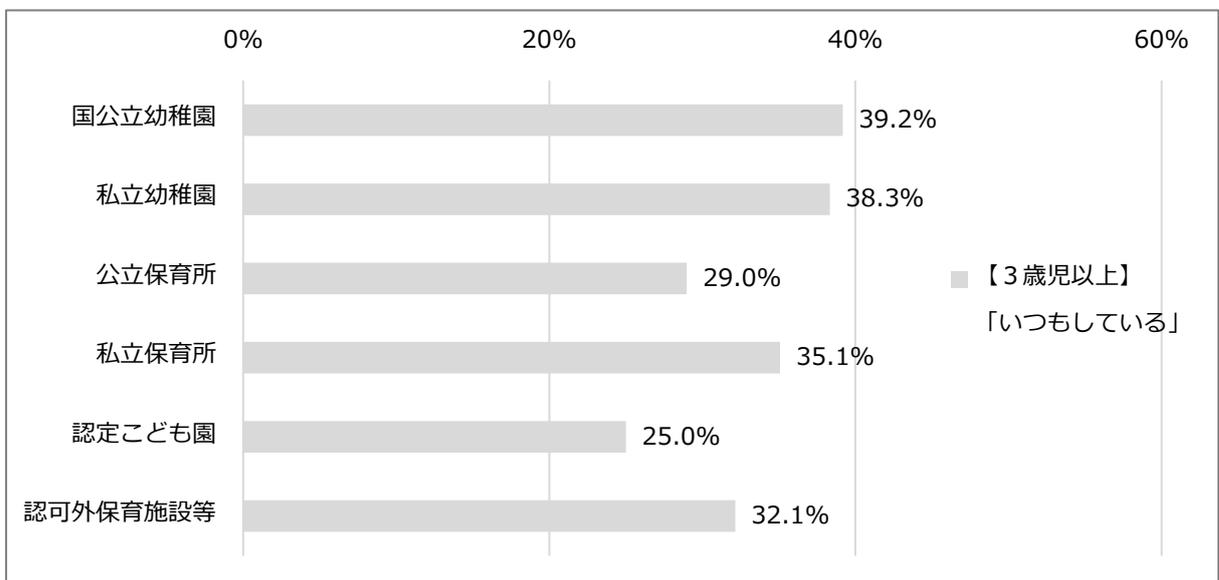
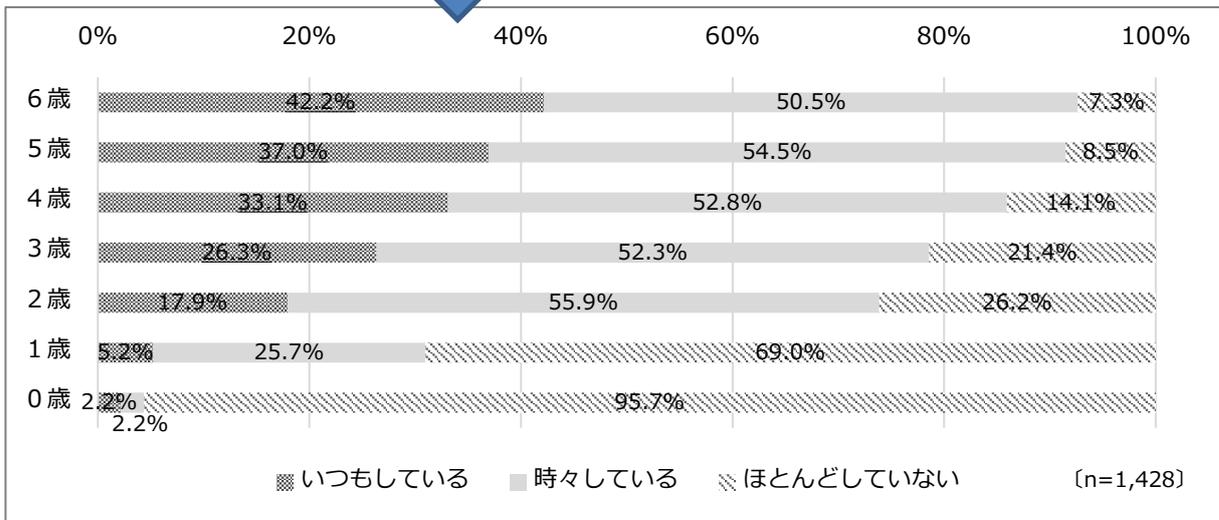
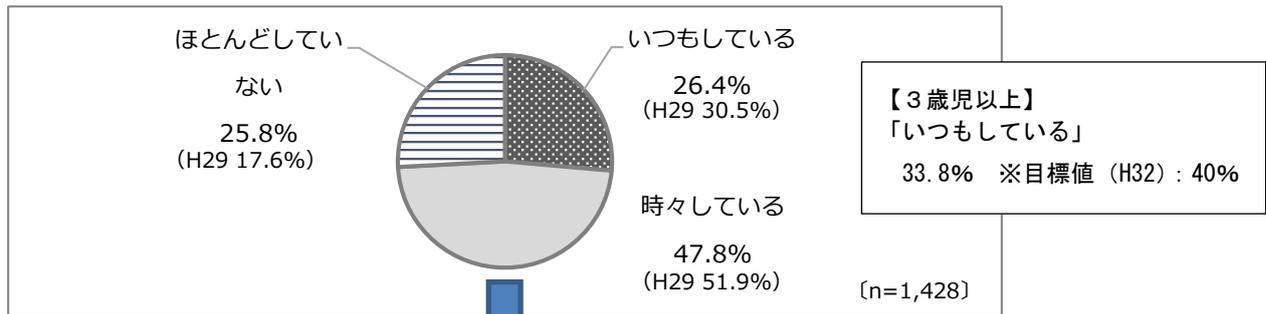
3-1-1 お子さんは自然体験活動（水遊び，虫捕り，キャンプ，ハイキングなど）をどの位していますか。 ★目標指標 No. 10



<概要◎>

- 自然体験活動については，3歳児以上の「何度もしている」の割合が27.6%であり，昨年度から3.4ポイント増加した。

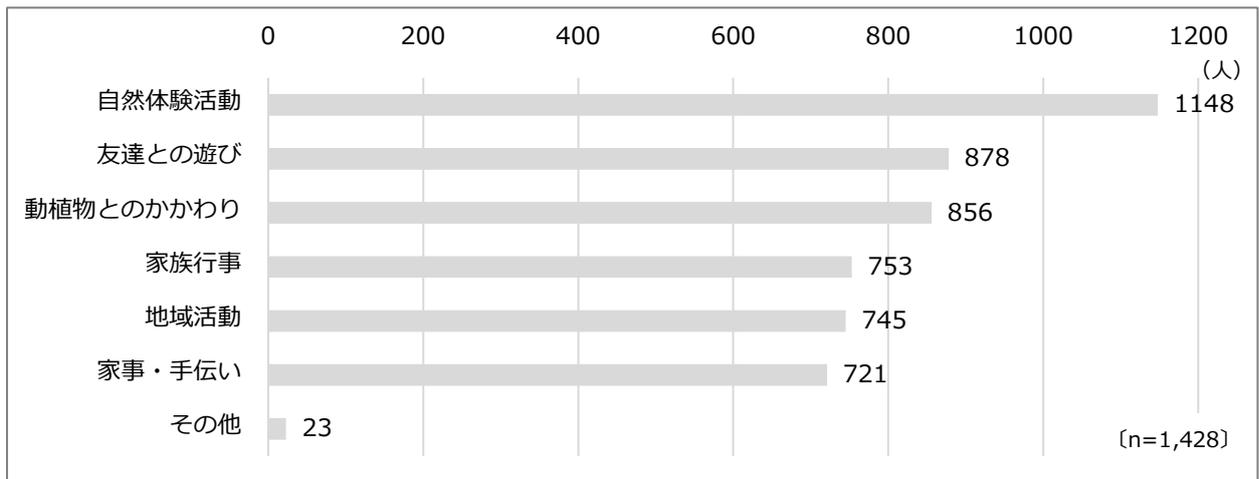
3-1-2 お子さんは家事・手伝い（食事の配膳・片付けや掃除、洗濯物をたたむなど）をどの位していますか。 ★目標指標 No. 3



<概要⑩>

- 家事・手伝いについては、3歳児以上の「いつもしている」割合が33.8%であり、昨年度から0.3ポイント減少した。施設別では、幼稚園での割合が高くなっている。
- 年齢が上がるごとに、家事・手伝いを行う傾向が見られており、6歳の「いつもしている」割合は42.2%となっている。

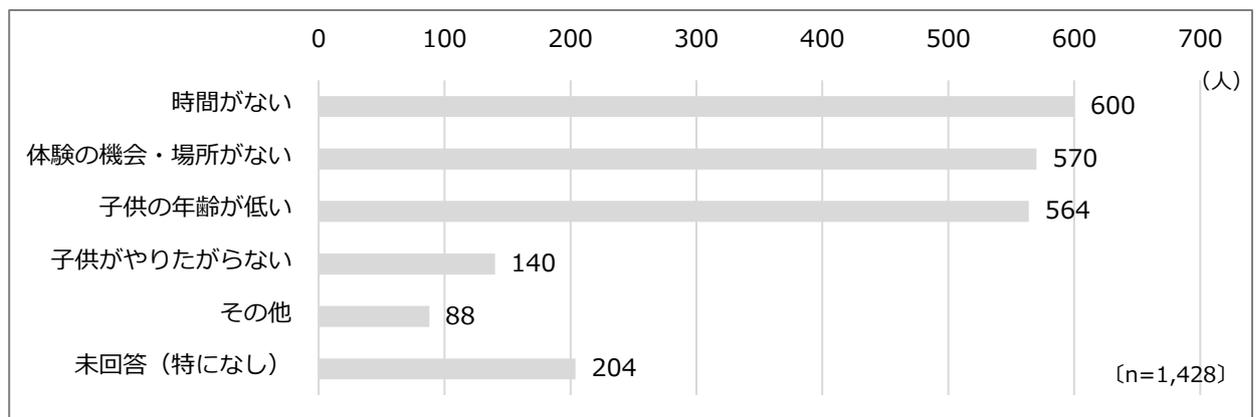
3-2 家庭や地域でお子さんに体験させたい活動をお答えください。(該当するもの3つ選択)



※その他： 親と違う世代との交流，国や文化の違う子供たちとの交流，音楽，芸術，就業体験，体を使った遊び，本人がやりたいと思ったこと 等

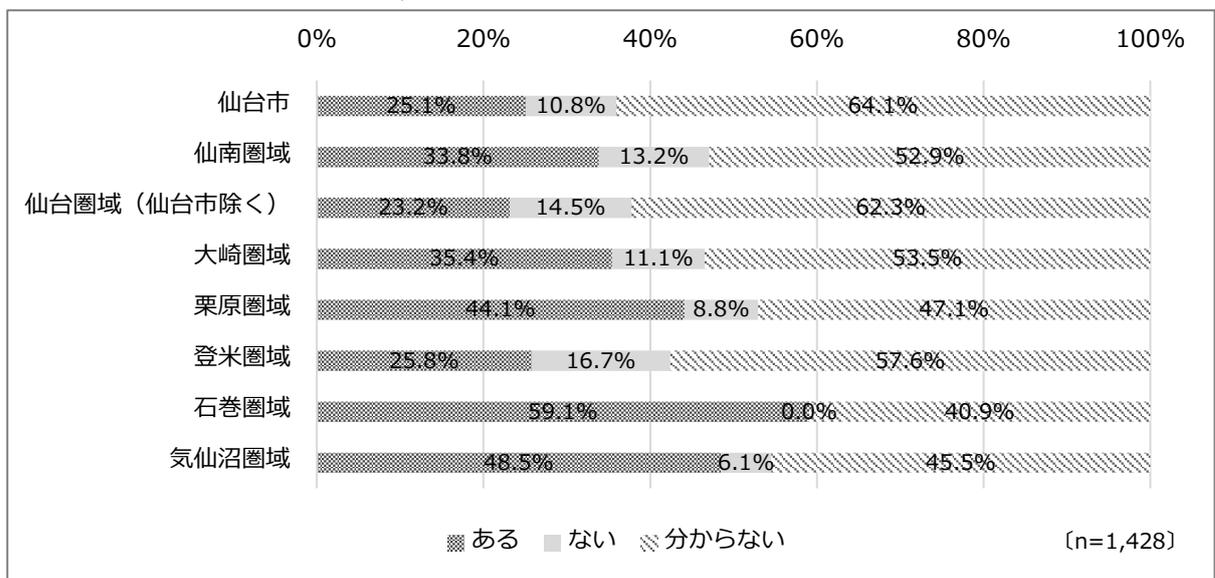
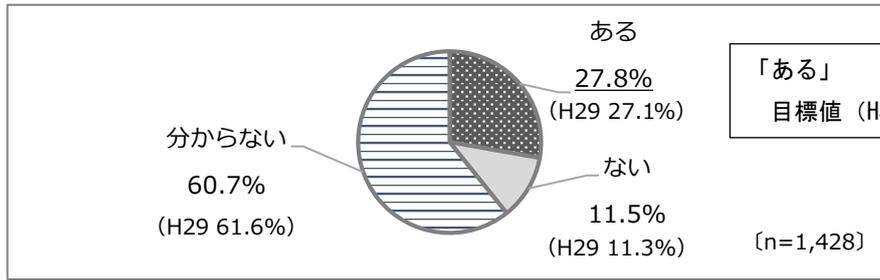
3-3

3-2の活動について，お子さんに体験させることが難しいと感じることがありましたら，その理由をお答えください。(該当するもの全て選択)



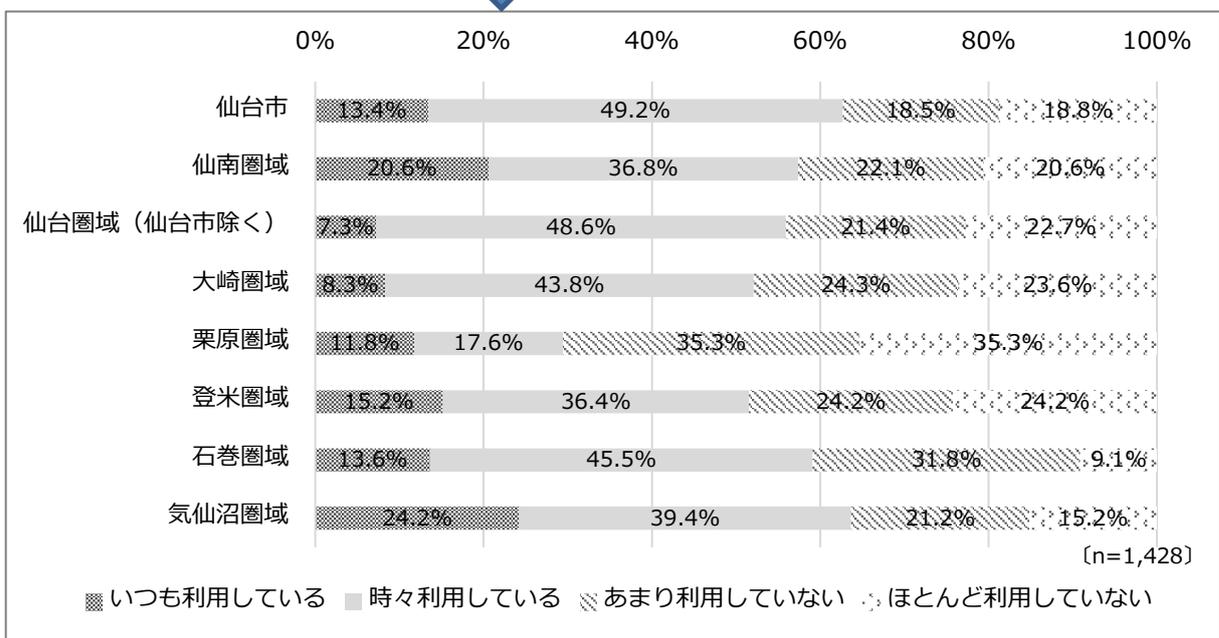
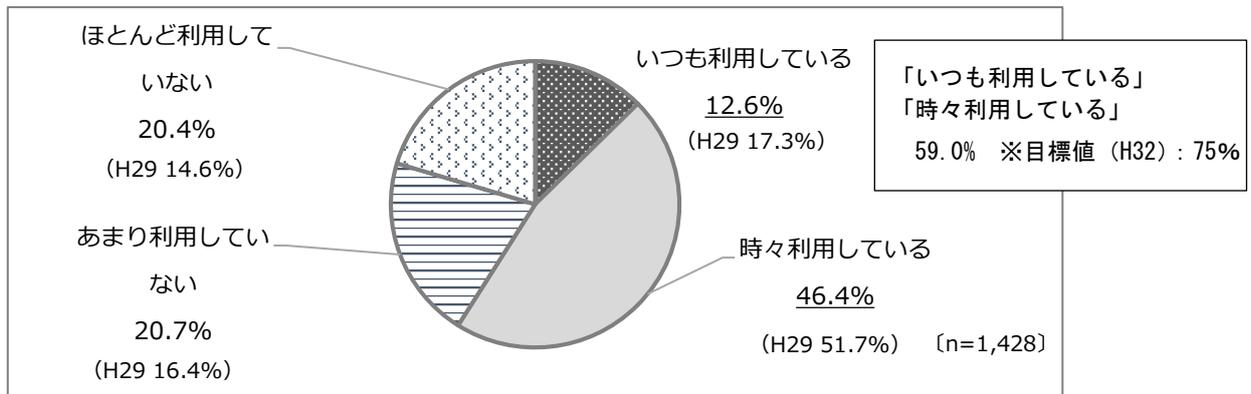
※その他： 仕事で親に余力がない，下の子が小さい，金銭面での不安，親の体力，暑さ・寒さや虫刺されなどが不安，親の経験が少ない，体験の場所が遠い 等

3-4 あなたがお住まいの地域では、自然体験活動等について参加できるイベントや催しなどがありますか。 ★目標指標 No. 11



3-5 遊び場として、公園や公民館、児童館などのコミュニティ施設を利用していますか。

★目標指標 No. 12

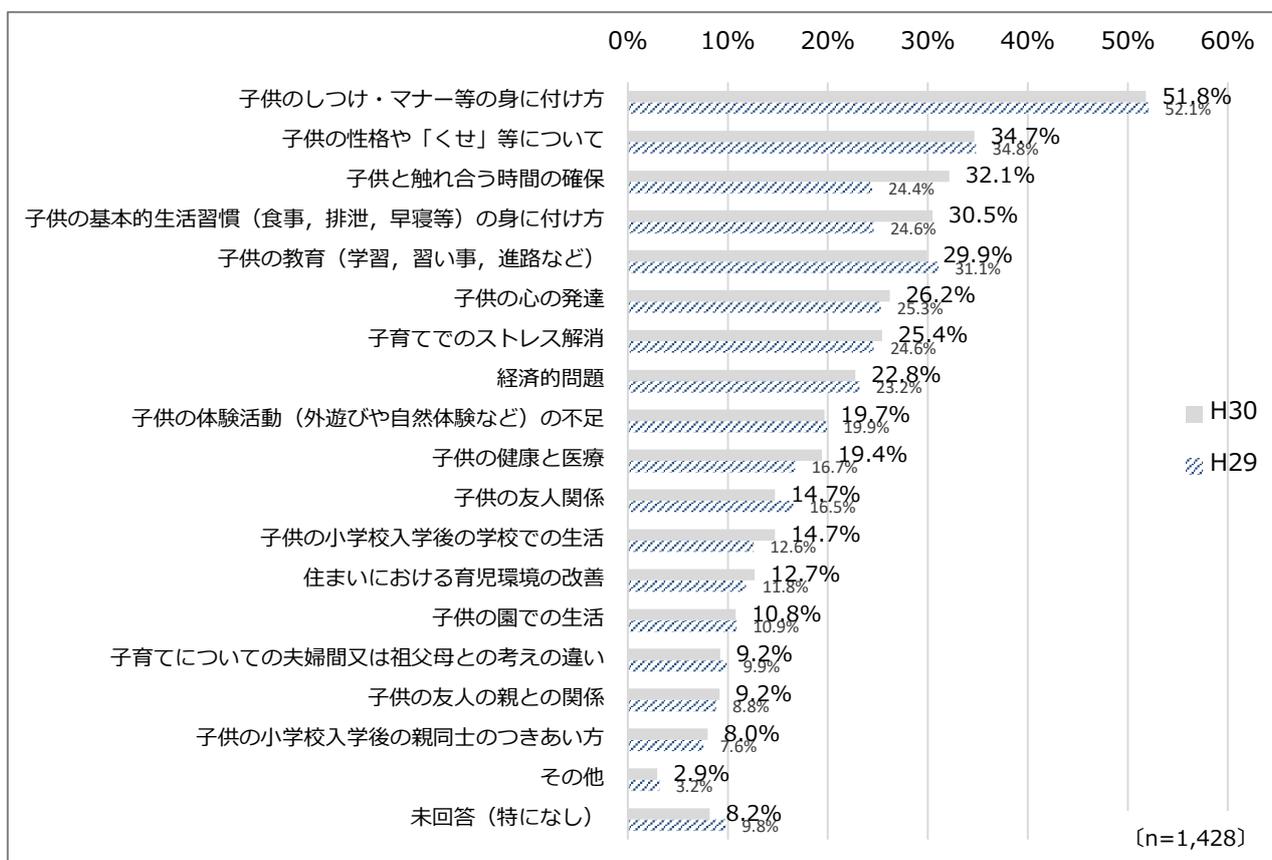


<概要①>

- 地域で参加できるイベントや催し(3-4)については、「ある」の割合が27.8%であり、昨年度から0.7ポイント増加した。圏域別では、石巻圏域の割合が59.1%と高くなっている。
- 遊び場としてのコミュニティ施設の利用(3-5)については、「いつも利用している」と「時々利用している」を合わせた割合が59.0%であり、昨年度から10.0ポイント減少した。圏域別では、仙台市や気仙沼圏域の割合が高い一方、栗原圏域での割合が低くなっている。

4 幼児教育の環境について

4-1 子育てで悩んでいることがありましたら、その内容をお答えください。(該当するもの全て選択)



※その他： 単身赴任中の片親での子育て，公園等での遊具の不足，学校等にエアコンが設置されていないことへの不安，屋内で体を動かせる場所がない，仕事と家事・育児の両立 等

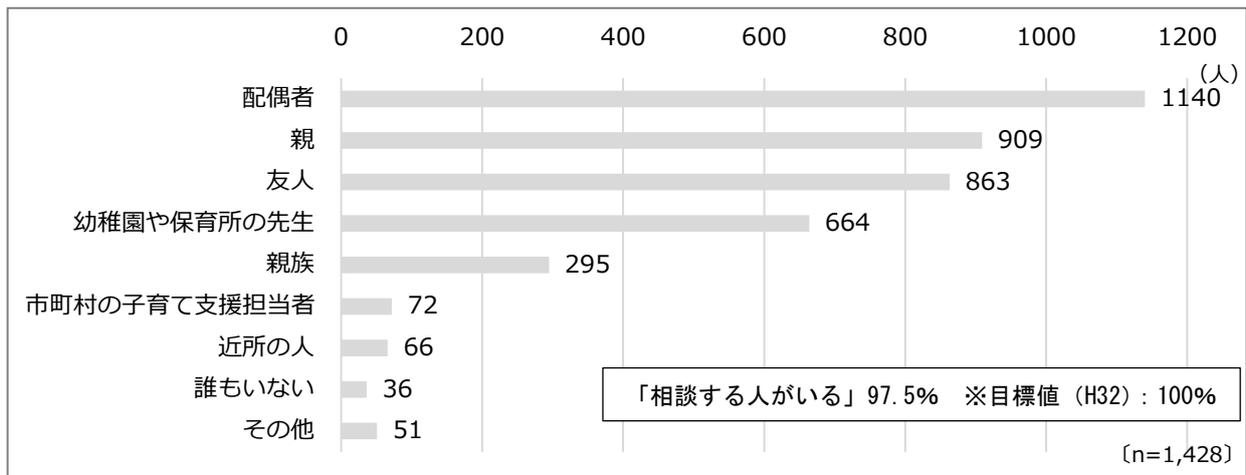
<年齢別：上位の項目>

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
1位	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー	しつけ・マナー
2位	基本的生活習慣	触れ合う時間	基本的生活習慣	基本的生活習慣	性格や「くせ」等	性格や「くせ」等	性格や「くせ」等
3位	触れ合う時間	基本的生活習慣	触れ合う時間	性格や「くせ」等	教育	教育	教育
4位	健康と医療	健康と医療	教育	触れ合う時間	触れ合う時間	学校での生活	触れ合う時間
5位	ストレス解消	性格や「くせ」等	ストレス解消	教育	ストレス解消	触れ合う時間	心の発達(4位同順)

<概要⑫>

- 子育てで悩んでいることについては、昨年度と同様、「子供のしつけ・マナー等の身に付け方」が51.8%と最も高かった。また、「子供と触れ合う時間の確保」，「子供の基本的生活習慣の身に付け方」が昨年度からそれぞれ増加し，30%以上となった。

4-2 子育ての悩みについて誰に相談していますか。(該当するもの全て選択) ★目標指標 No. 18

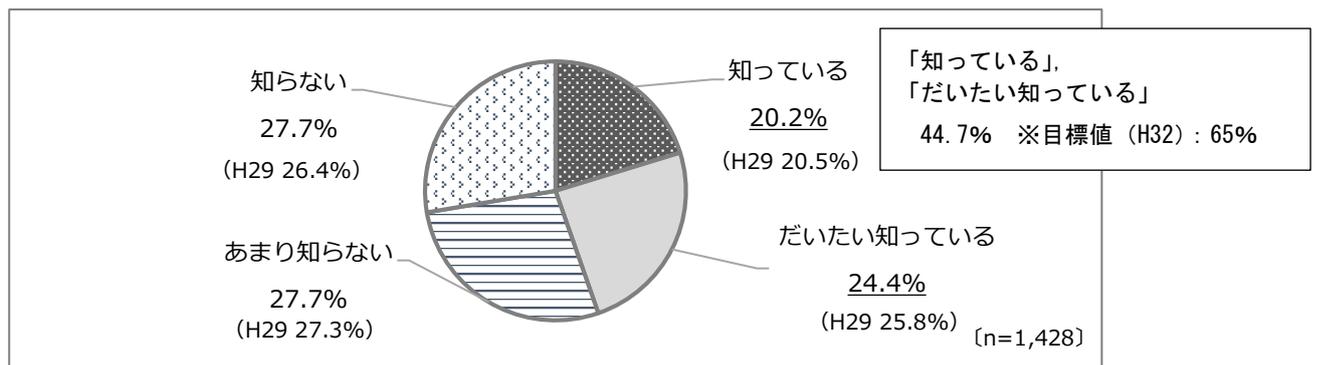


※その他： 子供の主治医，医療関係者，職場の同僚・先輩，ママ友，SNS 等

<概要⑬>

- 子育ての悩みの相談相手については、「配偶者」、「親」、「友人」、「幼稚園や保育所の先生」が多かった。
- 「誰もいない」と回答した割合は、父親が4.4%（7人），母親が2.3%（29人）であり、父親の割合が高くなっている。
⇒ 幼稚園や保育所等における子育て支援のより一層の充実と育児を行う父親へのサポートの仕方を検討する必要がある。

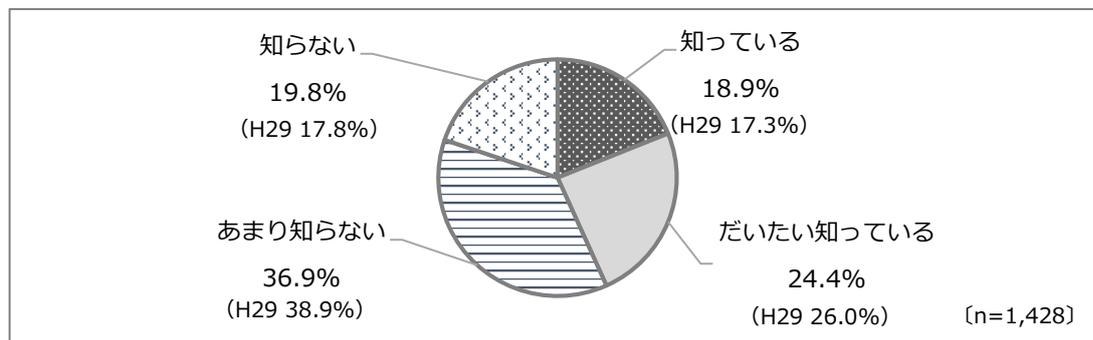
4-3 お子さんの行動（落ち着きがない，パニックを起こしやすい等）が気になるときの相談先を知っていますか。 ★目標指標 No. 17



<概要⑭>

- 子供の行動が気になるときの相談先については、「知っている」と「だいたい知っている」を合わせた割合が44.7%であり，昨年度から1.6ポイント減少した。

4-4 発達障害（ADHD，LD，自閉症など）の一般的特徴や関わり方などについて知っていますか。



<概要⑮>

- 発達障害（ADHD，LD，自閉症など）の一般的特徴や関わり方については、「知っている」と「だいたい知っている」を合わせた割合が昨年度と同じ43.3%であった。